

平成 21 年度
仙 台 市 施 策 目 標 調 査
(市民アンケート)
報 告 書

仙台市 企画市民局 総合政策部 総合計画課

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査目的	3
2. 調査項目	3
3. 調査仕様	3
4. 調査期間	3
5. 調査実施体制	3
6. 回収率	3
7. 報告書の見方	4
8. 調査回答者の属性	5
(1) 性別	5
(2) 年齢	5
(3) 住居形態	5
(4) 職業	5
(5) 世帯構成	6
(6) 居住地区	6
(7) 母集団（仙台市の18歳以上の人口）との比較	6
II. 調査結果	7
1. 居住年数と転入理由	9
(1) 仙台市での居住年数	9
(2) 直前の居住地	10
(3) 仙台市への転入理由	11
2. 生活環境の満足度	12
(1) 分野別満足度	12
(2) 総合的満足度	13
(3) 属性別満足度	14
(4) 今後の定住意向	22
3. 仙台市の魅力	23
(1) 分野別魅力	23
(2) 総合的満足度	24
(3) 属性別満足度	25
4. 仙台市の施策評価	33
(1) 分野別評価	33
(2) 評価できると思う施策	39
(3) 不十分だと思う施策	40
(4) 今後特に力を入れていくべきだと思う施策	41

5. 自由意見	46
(1) 市政全般に関するご意見	46
(2) 仙台の街の「良いところ」「将来引き継いでいきたいところ」に関するご意見	49
(3) 仙台の街の「良くなってほしいところ」「足りないと思うところ」に関するご意見	52
Ⅲ. 資料	55
資料1 調査票	57

I . 調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、仙台市民の日常生活に関する意識などの傾向を継続的に把握するとともに、本市が重点的に取り組んでいる施策に対する市民の評価などを把握し、その結果を施策の進捗管理に活用することにより、本市の重点施策の推進を図ることを目的とする。

2. 調査項目

(1) 地域居住

居住年数、前居住地、転入理由

(2) 生活環境等の満足度

生活環境の満足度、定住意向

(3) 仙台市の魅力等の満足度

仙台市の魅力

(4) 仙台市の施策評価

仙台市の施策の評価

3. 調査仕様

(1) 調査地域 仙台市全域

(2) 調査対象 仙台市に居住する満 18 歳以上の男女 10,000 人

(3) 抽出方法 平成 21 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳から無作為抽出

(4) 調査方法 無記名式の質問紙調査。郵送による配付・回収

4. 調査期間

調査票発送	回収締切	集計対象
平成 21 年 5 月 8 日	平成 21 年 5 月 25 日	平成 21 年 6 月 2 日

5. 調査実施体制

(1) 調査主体 仙台市 企画市民局 総合政策部 総合計画課

(2) 調査機関 株式会社東日本リサーチセンター

6. 回収率

	対象者数	有効回収数	有効回収率
平成 21 年度	10,000 人	4,400 票	44.0%
平成 20 年度	10,000 人	4,265 票	42.7%
平成 19 年度	10,000 人	4,105 票	41.1%

7. 報告書の見方

- ・調査数（N=Number of cases）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。
- ・回答者が2つ以上の回答をすることができる多岐選択式の質問においては、すべての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ・調査票における設問及び選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・標本誤差※¹は下記の通りである。

等間隔抽出法※²の標本誤差は次の式によって得られる。

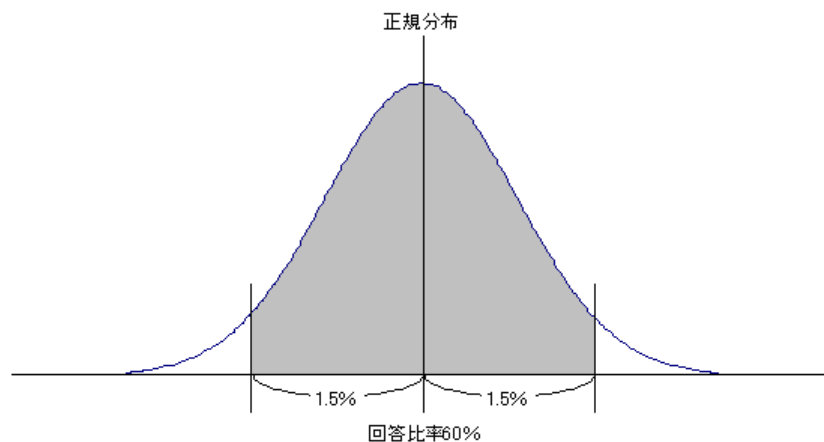
$$\text{標本誤差} = 2 \sqrt{\{(N-n)/(N-1)\} \times \{p \times (1-p)/n\}}$$

※N=母集団 n=比率算出の基数（サンプル数） P=回答比率

n	p	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
4,400		±0.9%	±1.2%	±1.4%	±1.5%	±1.5%
3,121		±1.1%	±1.4%	±1.6%	±1.8%	±1.8%
2,000		±1.3%	±1.8%	±2.0%	±2.2%	±2.2%
1,000		±1.9%	±2.5%	±2.9%	±3.1%	±3.2%
500		±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%
200		±4.2%	±5.7%	±6.5%	±6.9%	±7.1%

表の見方：ある設問の回答者数が4,400で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも1.5%以内（58.5～61.5%）とみることができる。

また、標本誤差の幅は、比率算出の基数（n）及び回答比率（P）によって異なる。



※¹標本誤差：標本調査の結果として得られた推計値の正確さを表す数値。この場合の標本調査は調査の客体を無作為に選んだものでなければならない。

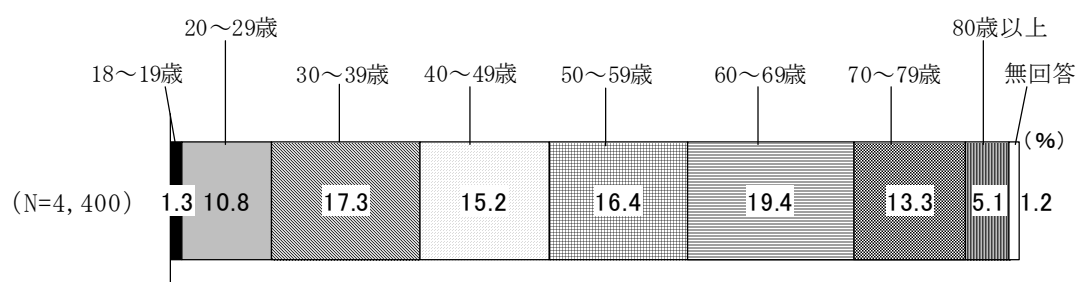
※²等間隔抽出法：母集団の全てに通し番号をつけ、ランダムに出発番号を決め、一定の間隔毎にサンプルを抽出して行く方法。

8. 調査回答者の属性

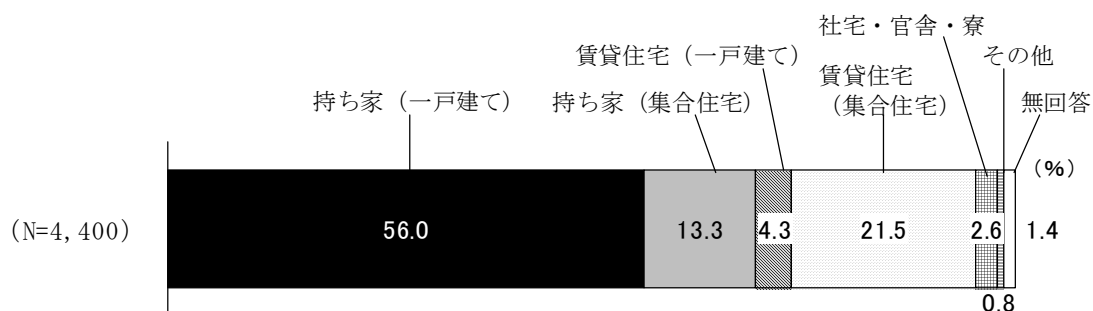
(1) 性別



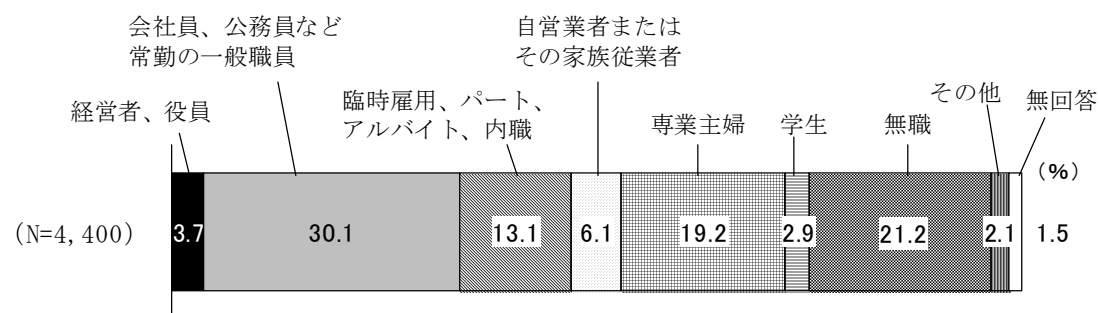
(2) 年齢



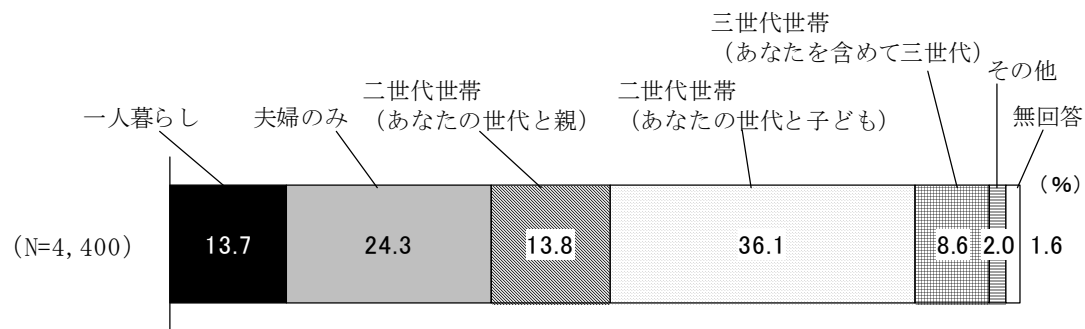
(3) 住居形態



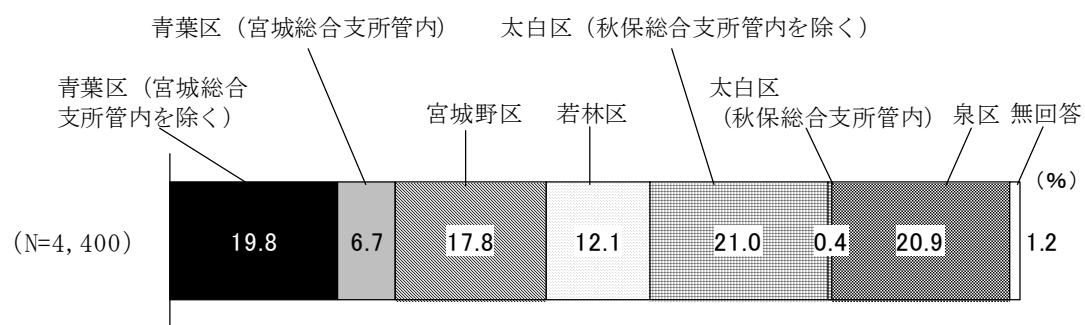
(4) 職業



(5) 世帯構成



(6) 居住地区



(7) 母集団（仙台市の18歳以上の人口）との比較

	母集団数 (人)	割合 (%)	有効回収数 (票)	割合 (%)
年齢別				
18～29 歳	159,880	19.0	534	12.1
30～39 歳	165,085	19.6	760	17.3
40～49 歳	133,949	15.9	667	15.2
50～59 歳	134,627	16.0	722	16.4
60～69 歳	118,775	14.1	852	19.4
70～79 歳	81,382	9.7	585	13.3
80 歳以上	46,647	5.6	226	5.1
無 回 答			54	1.2
計	840,345	100.0	4,400	100.0
性別				
男 性	401,870	47.8	1,922	43.7
女 性	438,475	52.2	2,402	54.6
無 回 答			76	1.7
計	840,345	100.0	4,400	100.0

※母集団数は、平成21年4月1日現在 住民基本台帳による。

Ⅱ. 調査結果

Ⅱ. 調査結果

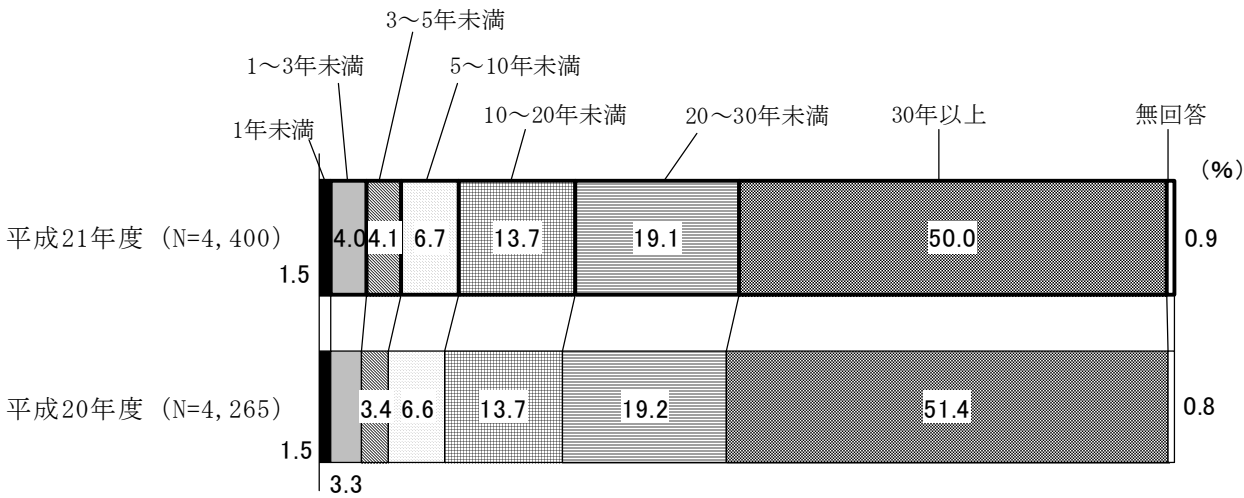
1. 居住年数と転入理由

(1) 仙台市での居住年数

問1 あなたは仙台市（合併前の旧市・町を含む。以下同じ。）にお住まいになって何年になりますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

※一度市外に転出して、また転入した方は、通算の年数をお答えください。

図表Ⅱ－1 仙台市での居住年数



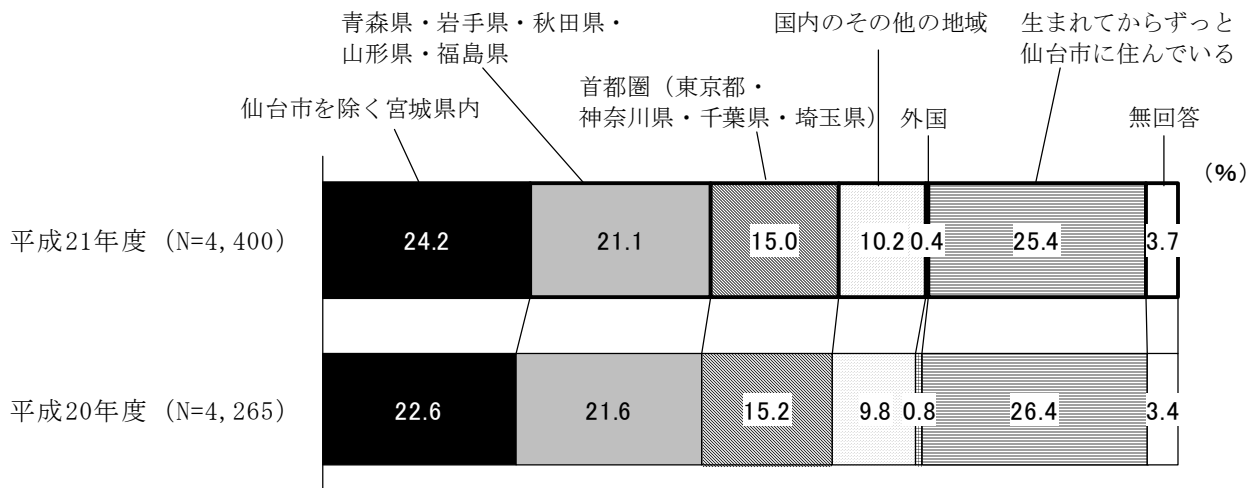
仙台市での居住年数をたずねたところ、「30年以上」（50.0%）が最も多く、「20～30年未満」（19.1%）と合わせた“20年以上の長期居住者”が69.1%となっている。

平成20年度と比較しても、大きな変化はみられない。

(2) 直前の居住地

問2 あなたは仙台市に住む以前(直前)は、どちらに住んでいましたか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

図表Ⅱ－2 直前の居住地



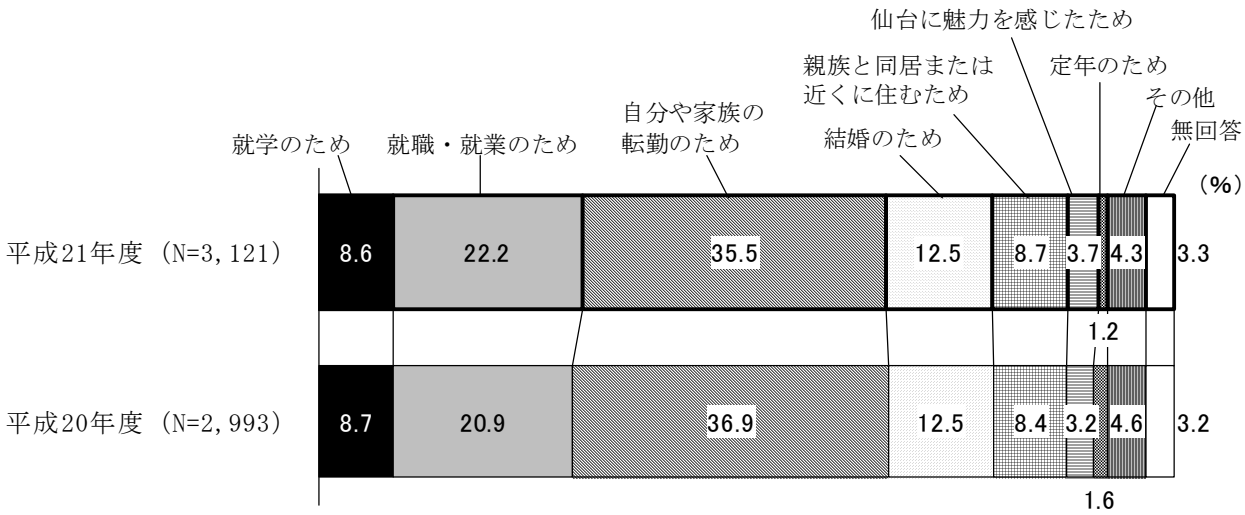
仙台市に住む以前の居住地をたずねたところ、「生まれてからずっと仙台市に住んでいる」が25.4%となっている。次いで「仙台市を除く宮城県内」(24.2%)、「青森県・岩手県・秋田県・山形県・福島県」(21.1%)、「首都圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県)」(15.0%)の順となっている。

平成20年度と比較しても、大きな変化はみられない。

(3) 仙台市への転入理由

問2-1 問2で「1」～「5」とお答えの方におたずねします。仙台に引っ越してきた理由は何ですか。もっともあてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

図表Ⅱ-3 仙台市への転入理由



仙台市以外の地域から仙台市に引っ越してきた転入者に転入の理由をたずねたところ、「自分や家族の転勤のため」(35.5%)や「就職・就業のため」(22.2%)といった仕事に関する理由を挙げる人が約6割となっている。以下、「結婚のため」(12.5%)、「親族と同居または近くに住むため」(8.7%)、「就学のため」(8.6%)となっている。

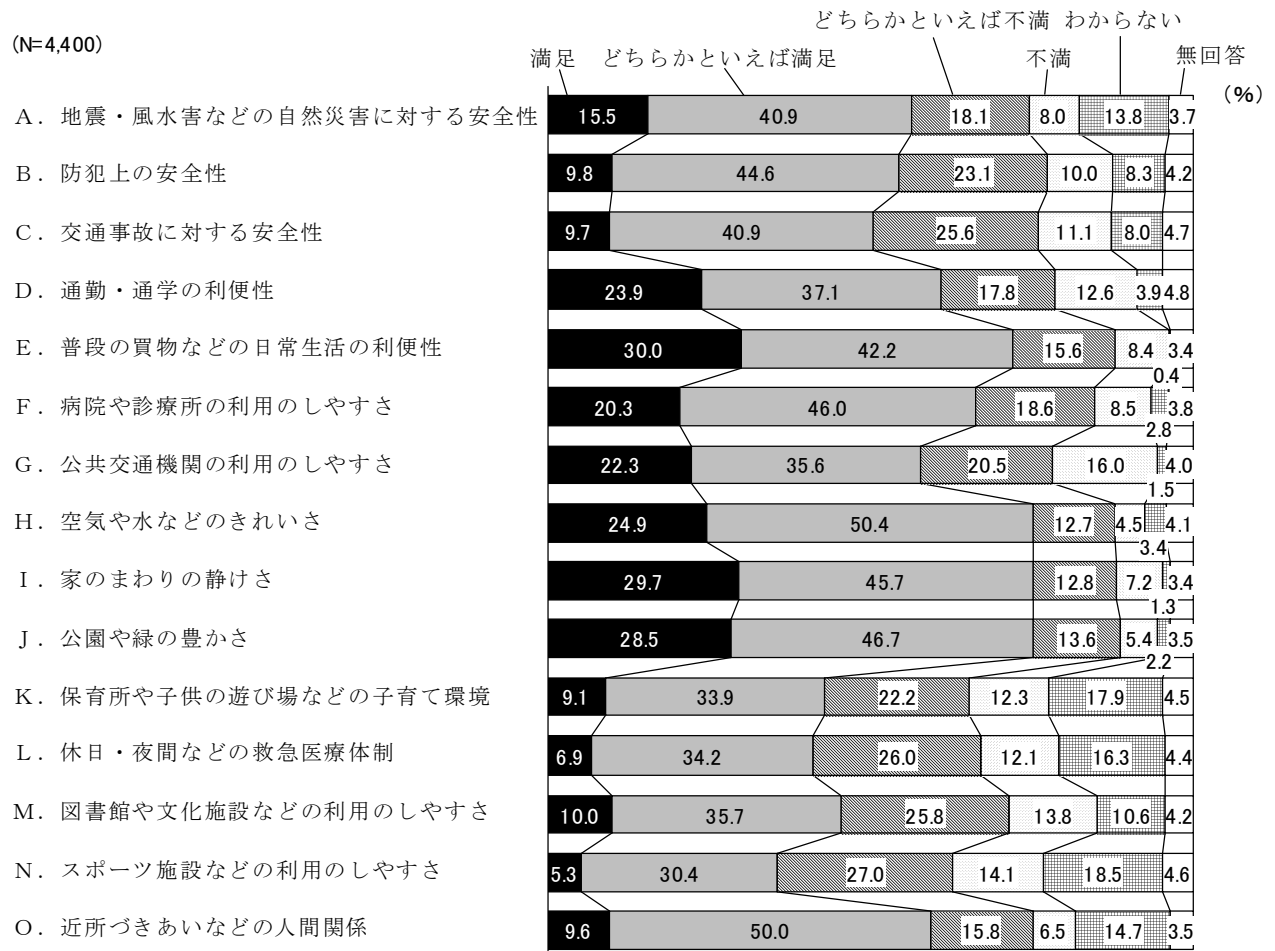
平成20年度と比較しても、大きな変化はみられない。

2. 生活環境の満足度

(1) 分野別満足度

問3 あなたは、今お住まいのところの生活環境について、どの程度満足していますか。次のA～Oのそれぞれについて、あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

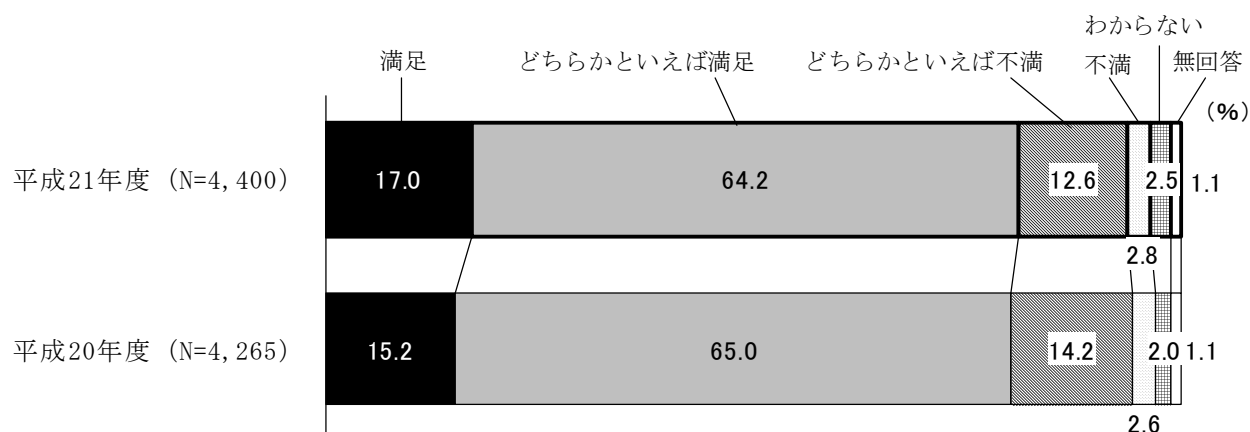
図表Ⅱ－4 分野別満足度



(2) 総合的満足度

問4 現在お住まいの環境を総合的に見た場合、あなたはどの程度満足していますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

図表Ⅱ－5 総合的満足度



生活環境の満足度を分野別にたずねたところ、図表Ⅱ－4のとおり、『普段の買物などの日常生活の利便性』、『家のまわりの静けさ』、『公園や緑の豊かさ』、『空気や水などのきれいさ』、『通勤・通学の利便性』、『公共交通機関の利用のしやすさ』、『病院や診療所の利用のしやすさ』で「満足」が2割を超えている。

「満足」に「どちらかといえば満足」を合わせた“概ね満足”は、『家のまわりの静けさ』(75.4%)が最も多く、次いで『空気や水などのきれいさ』(75.3%)、『公園や緑の豊かさ』(75.2%)、『普段の買物などの日常生活の利便性』(72.2%)が続く。

一方、「不満」との回答は、『公共交通機関の利用のしやすさ』(16.0%)が最も多く、次いで『スポーツ施設などの利用のしやすさ』(14.1%)、『図書館や文化施設などの利用のしやすさ』(13.8%)、『通勤・通学の利便性』(12.6%)となっている。

“概ね満足”と同様、「不満」に「どちらかといえば不満」を合わせた“概ね不満”は、『スポーツ施設などの利用のしやすさ』(41.1%)、『図書館や文化施設などの利用のしやすさ』(39.6%)、『休日・夜間などの救急医療体制』(38.1%)、『交通事故に対する安全性』(36.7%)で他の項目と比べやや多くなっている。

居住環境に関する項目の評価が高く、公共施設の利用に関する項目の評価が低いという傾向がみられた。

生活環境についての総合的な満足度は、図表Ⅱ－5のとおり、「どちらかといえば満足」が64.2%となっている。これに「満足」(17.0%)を合わせた“概ね満足”は81.2%となっている。

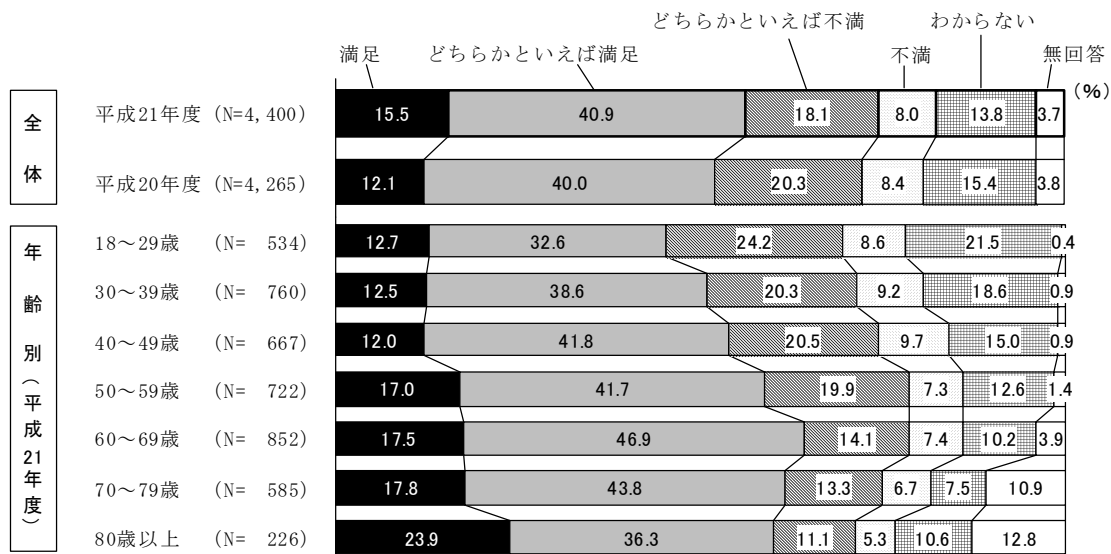
平成20年度と比較しても、大きな変化はみられない。

次ページからは分野ごとに、属性別に分析した結果を掲載する。

(3) 属性別満足度

A. 地震・風水害などの自然災害に対する安全性

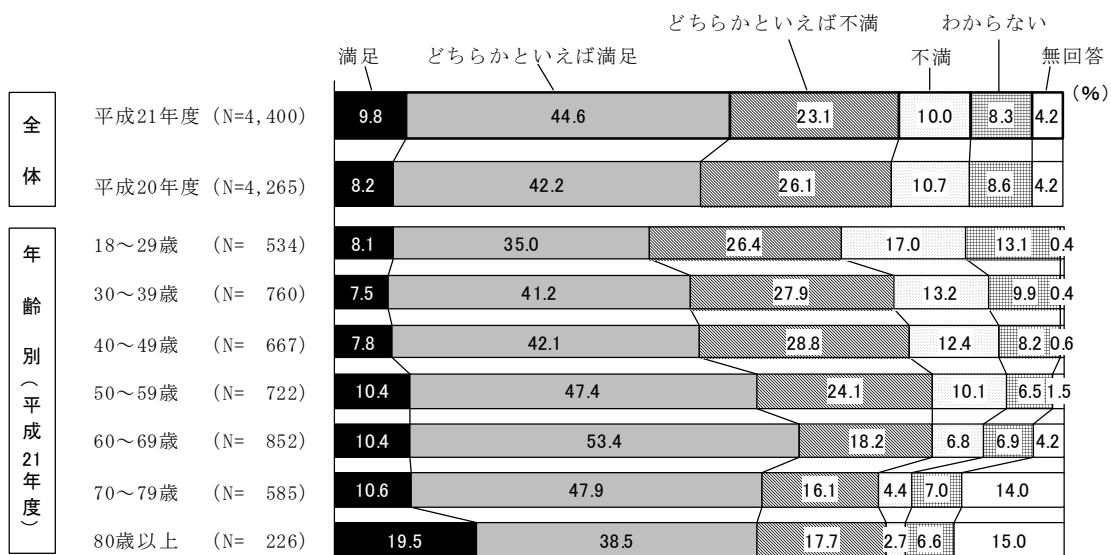
図表Ⅱ－６ 地震・風水害などの自然災害に対する安全性（年齢別）



『自然災害に対する安全性』を、年齢別でみると、「満足」は、40歳代以上で年齢が上がるにしたがって増加している。また、40歳代以上で年齢が上がるにしたがって“概ね不満”は減少する傾向になっている。

B. 防犯上の安全性

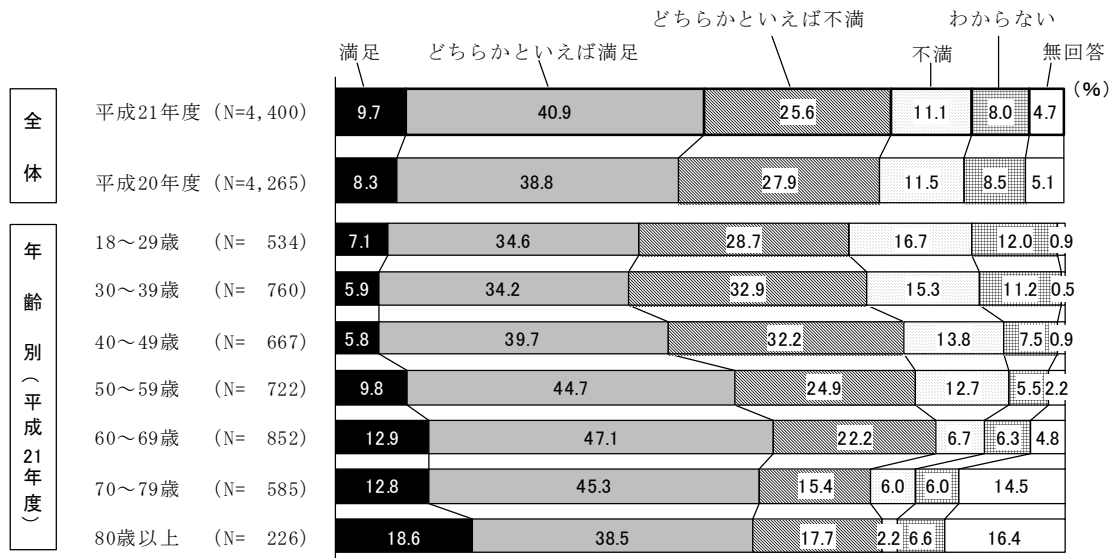
図表Ⅱ－７ 防犯上の安全性（年齢別）



『防犯上の安全性』を、年齢別でみると、50歳代以上で40歳代までに比べ“概ね満足”が多くなっている。また、40歳代以上で年齢が上がるにしたがって“概ね不満”は減少する傾向になっている。

C. 交通事故に対する安全性

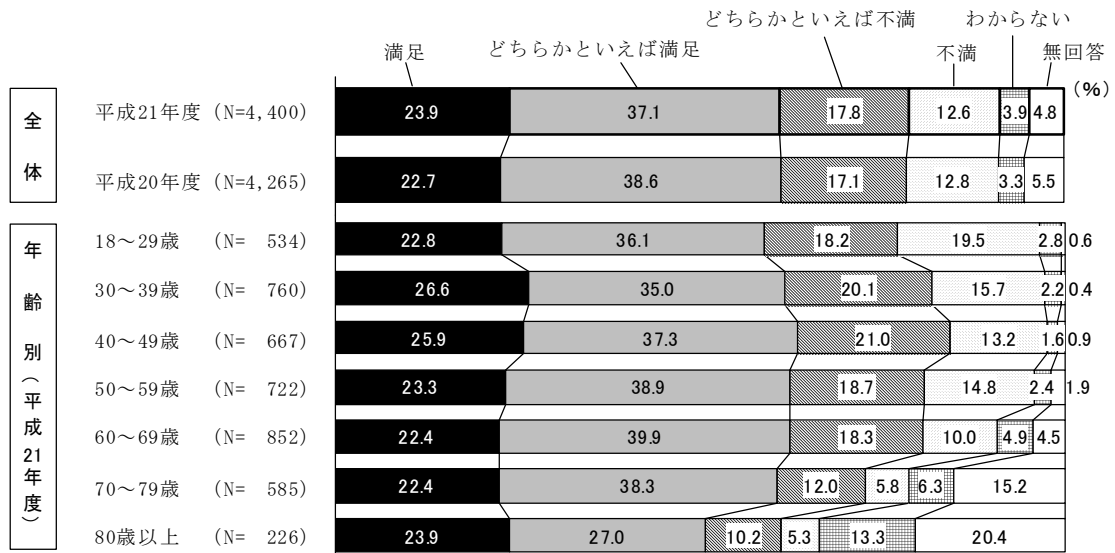
図表Ⅱ－８ 交通事故に対する安全性（年齢別）



『交通事故に対する安全性』を、年齢別でみると、40歳代までは“概ね不満”が“概ね満足”を上回っているが、50歳代以上では逆に“概ね満足”が“概ね不満”を上回っている。

D. 通勤・通学の利便性

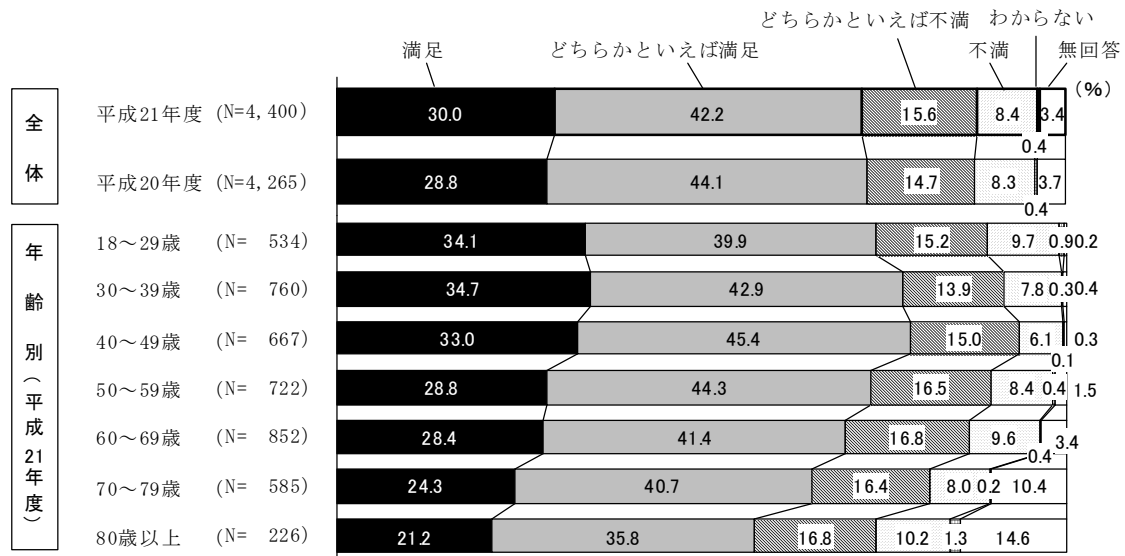
図表Ⅱ－９ 通勤・通学の利便性（年齢別）



『通勤・通学の利便性』を、年齢別でみると、30～70歳代で“概ね満足”が6割を超えている。また、年齢が上がるにしたがって“概ね不満”は減少する傾向になっている。

E. 普段の買物などの日常生活の利便性

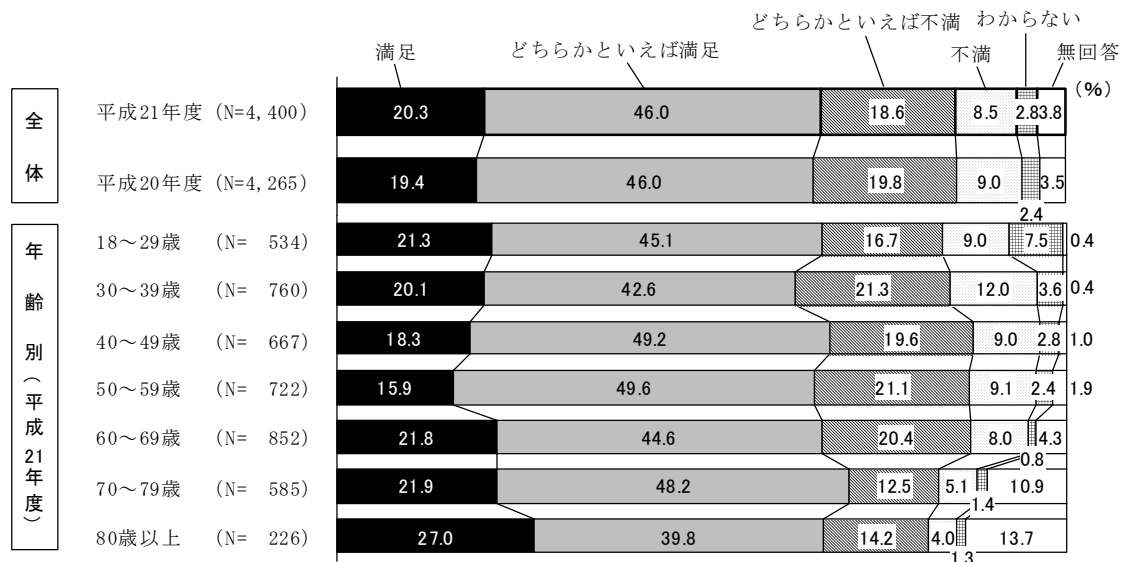
図表Ⅱ－10 普段の買物などの日常生活の利便性（年齢別）



『日常生活の利便性』を、年齢別でみると、40歳代までは「満足」が3割を超えているのに対し、50歳代以上では2割台となっている。また、40歳代以上では年齢が上がるにしたがって“概ね満足”が減少している。

F. 病院や診療所の利用のしやすさ

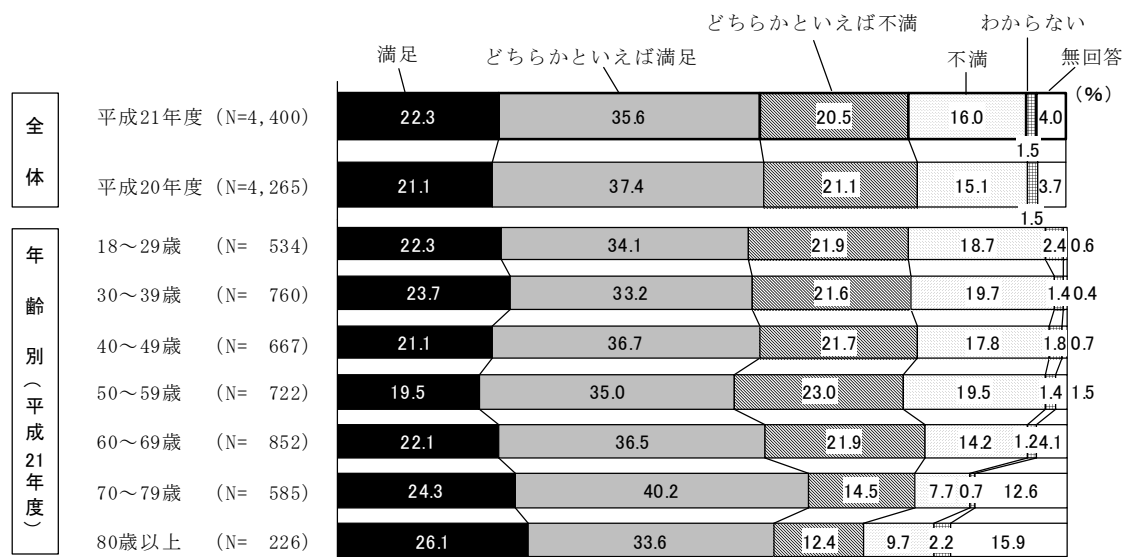
図表Ⅱ－11 病院や診療所の利用のしやすさ（年齢別）



『病院や診療所の利用のしやすさ』を、年齢別でみると、「満足」は、50歳代までは年齢が上がるにしたがって減少し、60歳代以上では増加している。

G. 公共交通機関の利用のしやすさ

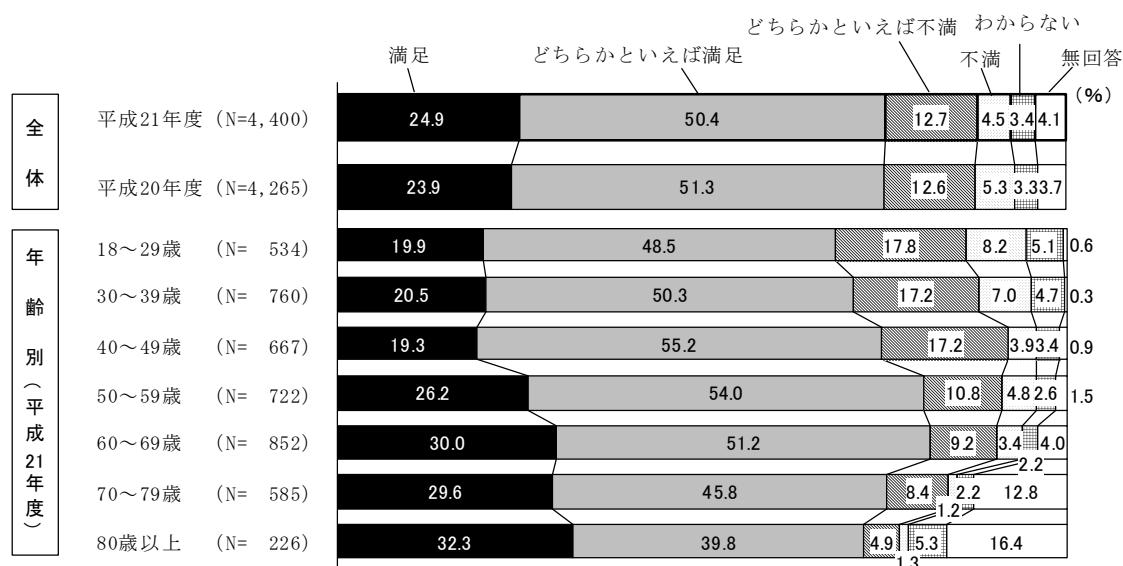
図表Ⅱ－12 公共交通機関の利用のしやすさ（年齢別）



『公共交通機関の利用のしやすさ』を、年齢別でみると、“概ね満足”は70歳代（64.5%）で最も多く、各年代で5割を超えている。

H. 空気や水などのきれいさ

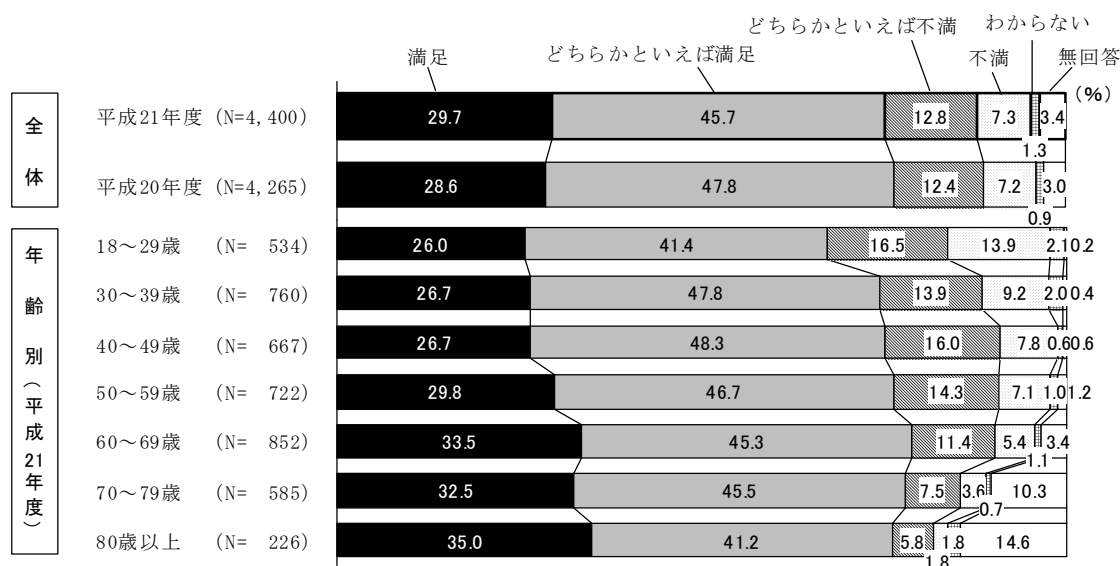
図表Ⅱ－13 空気や水などのきれいさ（年齢別）



『空気や水などのきれいさ』を、年齢別でみると、“概ね満足”は、60歳代までは年齢が上がるにしたがって増加し、70歳代以上では減少している。また、年齢が上がるにしたがって“概ね不満”は減少する傾向になっている。

I. 家のまわりの静けさ

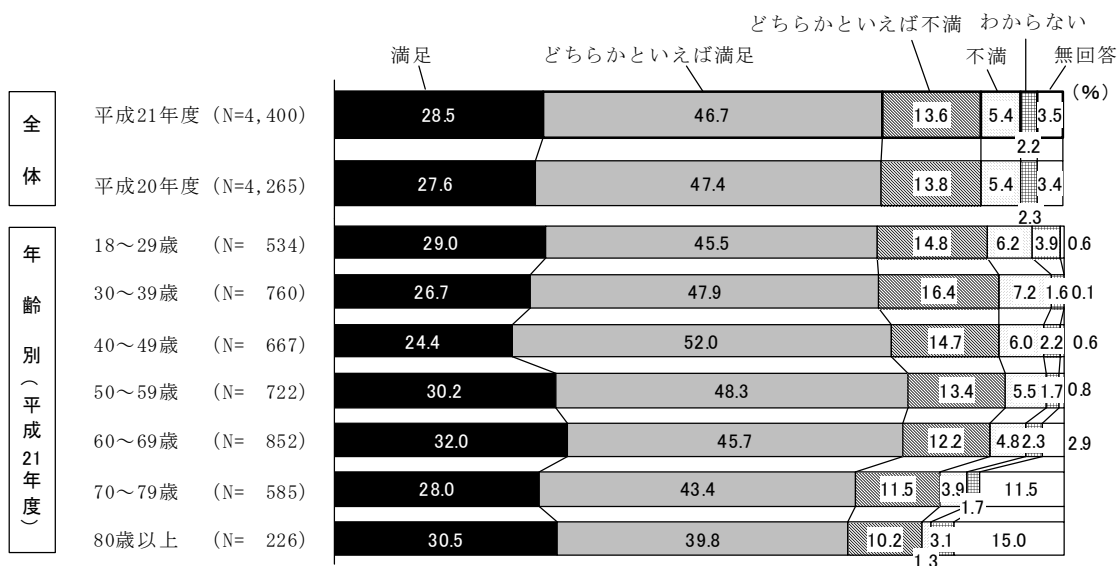
図表Ⅱ－14 家のまわりの静けさ（年齢別）



『家のまわりの静けさ』を、年齢別でみると、“概ね満足”は、60歳代までは年齢が上がるにしたがって増加している。

J. 公園や緑の豊かさ

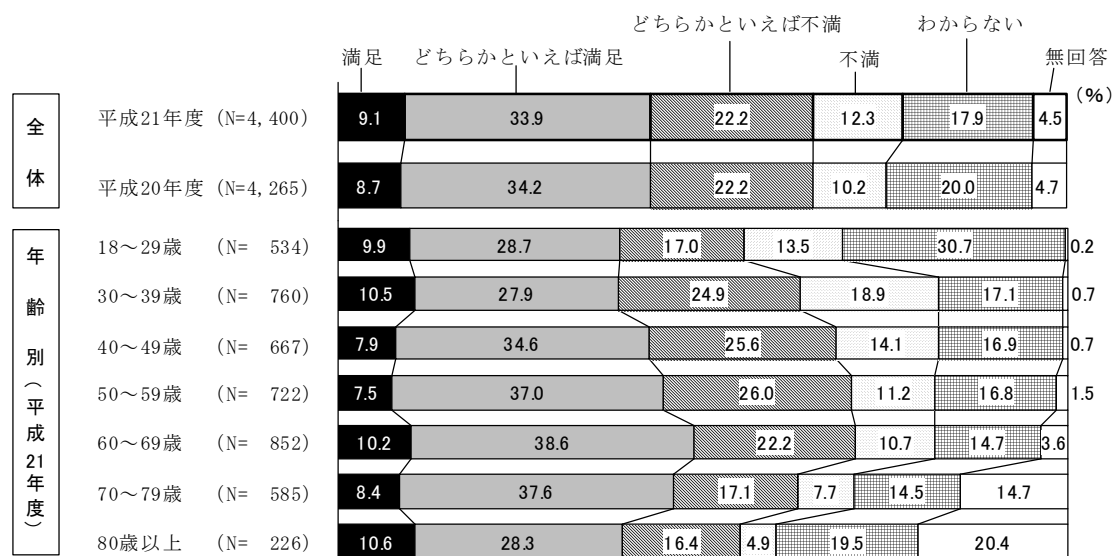
図表Ⅱ－15 公園や緑の豊かさ（年齢別）



『公園や緑の豊かさ』を、年齢別でみると、“概ね満足”は、各年代で7割を超えている。

K. 保育所や子供の遊び場などの子育て環境

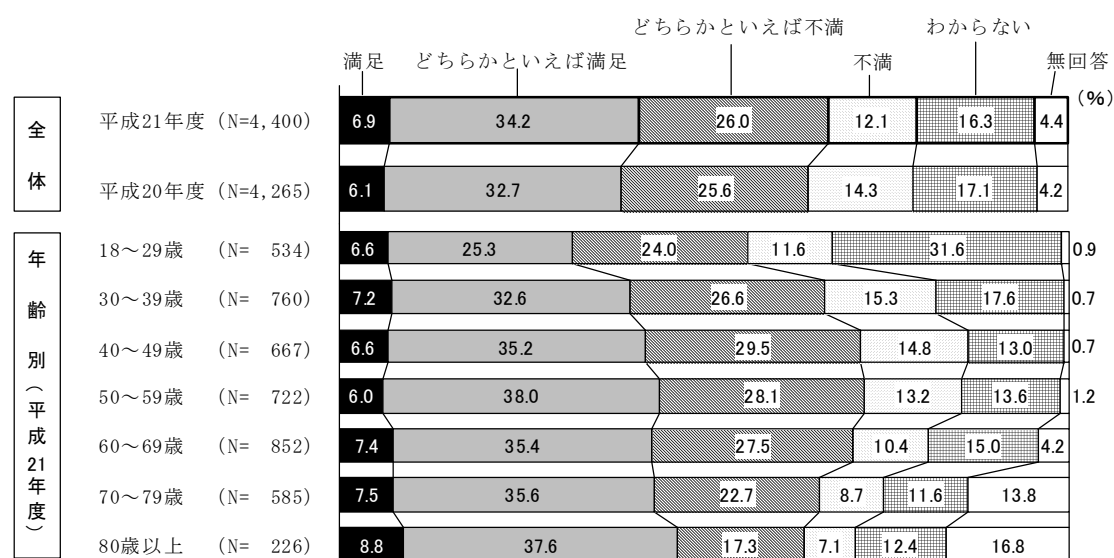
図表Ⅱ－16 保育所や子供の遊び場などの子育て環境（年齢別）



『子育て環境』を、年齢別でみると、“概ね満足”は60歳代（48.8%）で最も多い。しかし、30歳代では“概ね不満”が“概ね満足”を上回っている。

L. 休日・夜間などの救急医療体制

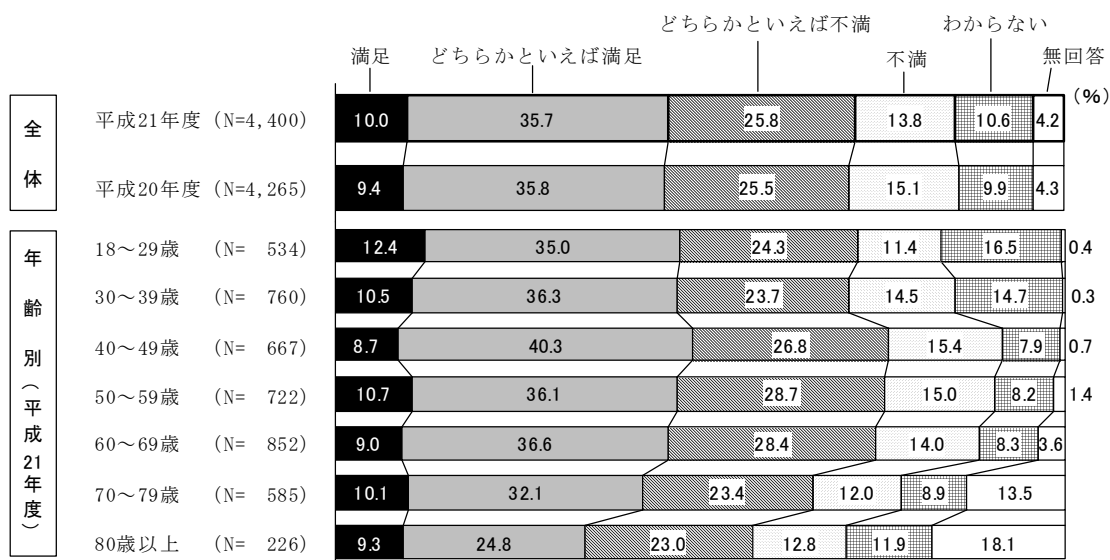
図表Ⅱ－17 休日・夜間などの救急医療体制（年齢別）



『救急医療体制』を、年齢別でみると、30歳代までは“概ね満足”が3割台であるのに対し、40歳代以上では4割を超えている。また、40歳代までの年齢層では“概ね不満”が“概ね満足”を上回っているが、50歳代以上では逆に“概ね満足”が“概ね不満”を上回っている。

M. 図書館や文化施設などの利用のしやすさ

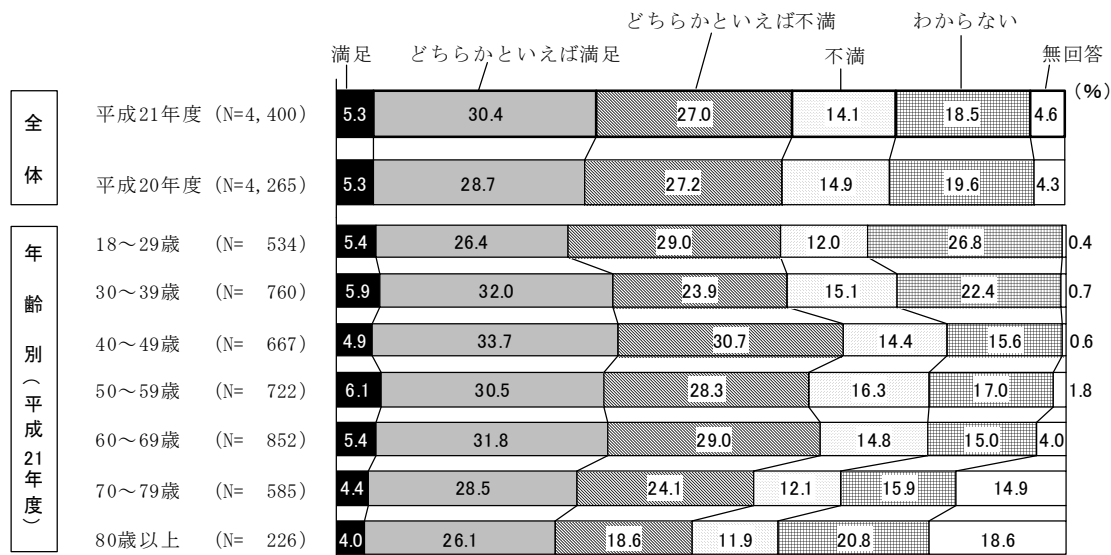
図表Ⅱ－18 図書館や文化施設などの利用のしやすさ（年齢別）



『図書館や文化施設などの利用のしやすさ』を、年齢別でみると、70歳代までは“概ね満足”が4割を超えている。また、80歳代では、“概ね不満”が“概ね満足”を上回っている。

N. スポーツ施設などの利用のしやすさ

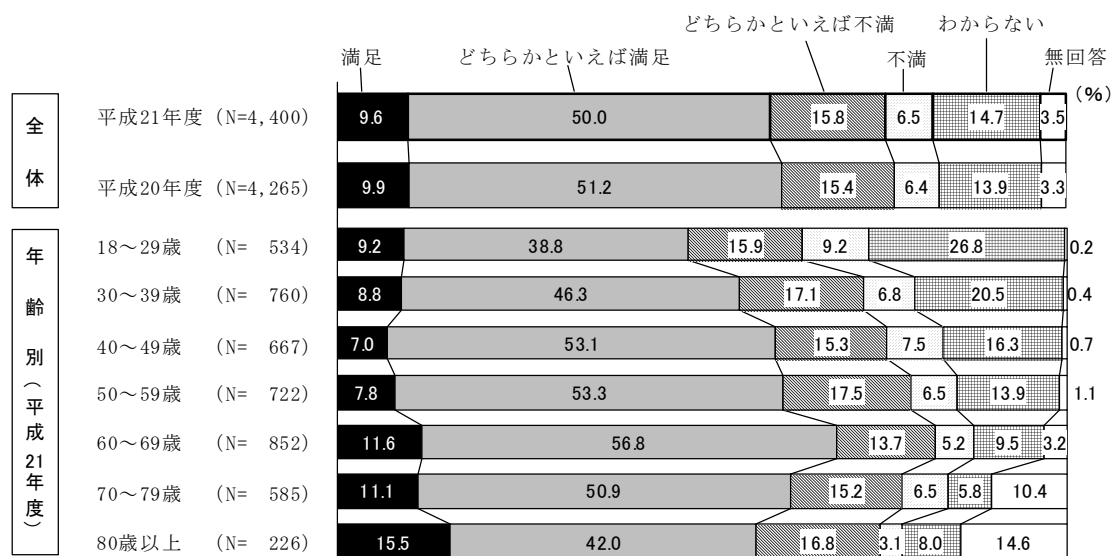
図表Ⅱ－19 スポーツ施設などの利用のしやすさ（年齢別）



『スポーツ施設などの利用のしやすさ』を、年齢別でみると、各年代で“概ね不満”が“概ね満足”を上回っている。

○. 近所づきあいなどの人間関係

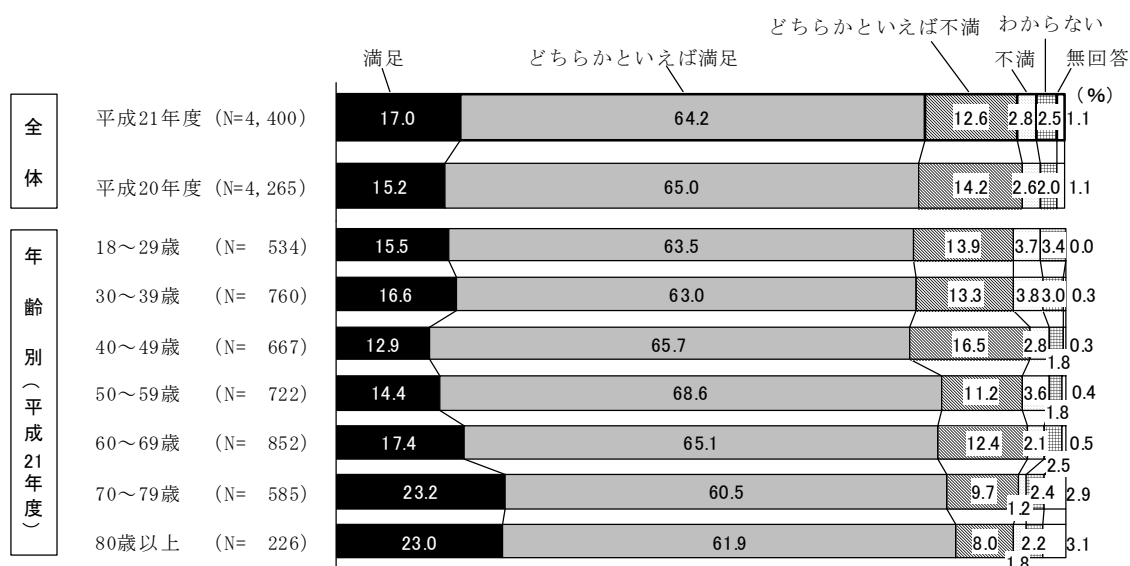
図表Ⅱ－20 近所づきあいなどの人間関係（年齢別）



『近所づきあいなどの人間関係』を、年齢別でみると、10～20歳代で他の年齢層と比べて“概ね満足”が少なくなっている。また、40～70歳代で“概ね満足”が6割を超えている。

総合的満足度（生活環境）

図表Ⅱ－21 総合的満足度（生活環境）（年齢別）



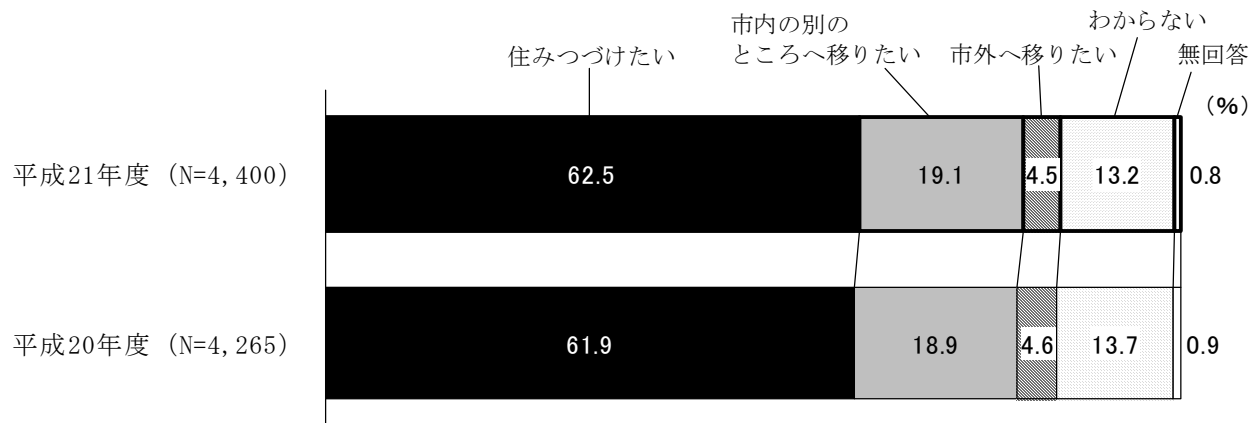
生活環境についての総合的満足度を、年齢別でみると、50歳代以上で“概ね満足”が8割を超えている。全体では、“概ね満足”が81.2%であり、各分野別の数値と比べて満足度が高い結果となっている。

(4) 今後の定住意向

問5 あなたは、今お住まいのところに将来もずっと住みつづけたいと思いますか。あなたのお気持ちに近いと思うものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

※就職、転勤や結婚などによる引越しがないものとしてお答えください。

図表Ⅱ－22 今後の定住意向



定住意向をみると、「住みつづけたい」(62.5%)が最も多く、「市内の別のところへ移りたい」(19.1%)と合わせた“仙台市内への定住希望者”は81.6%となっている。

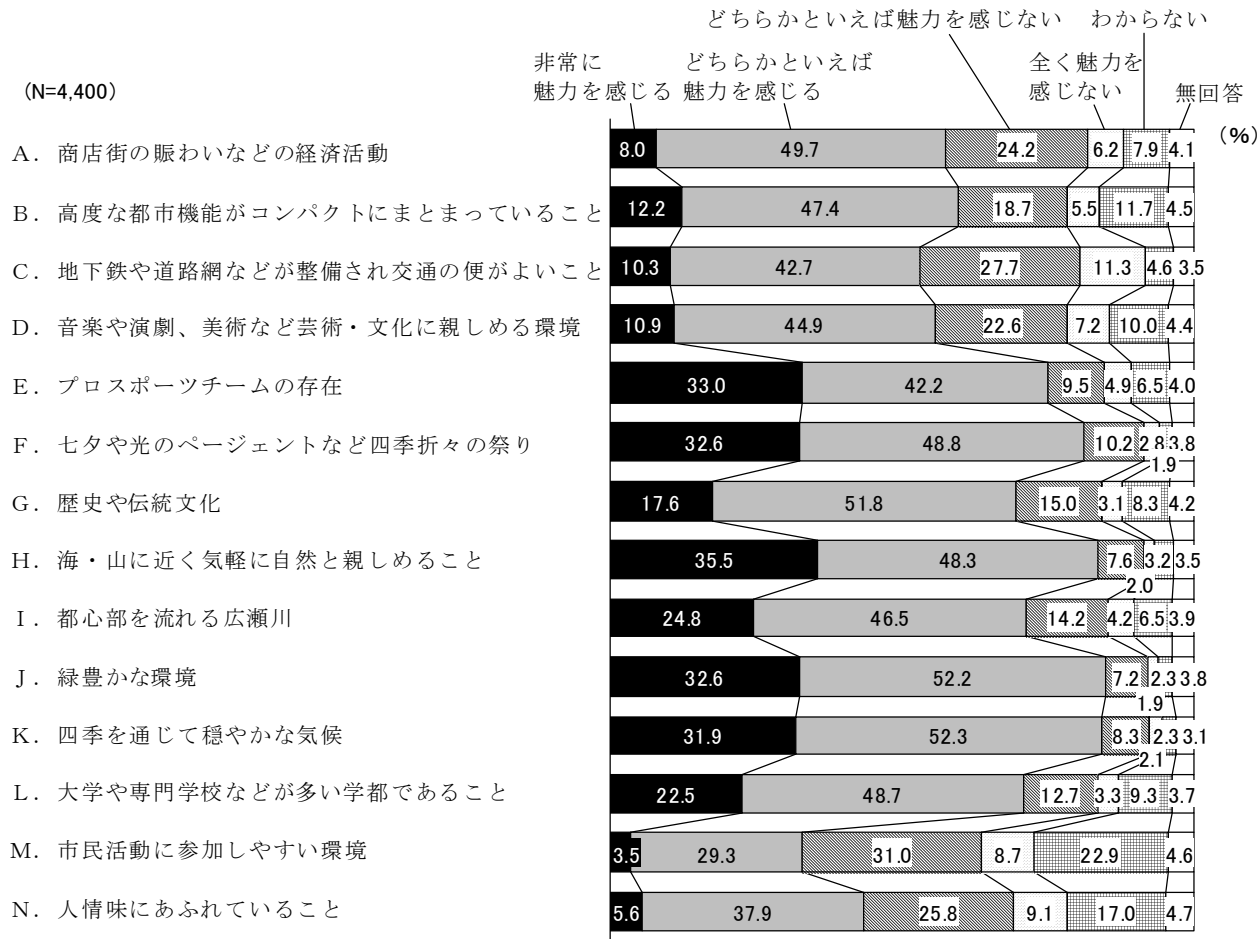
平成20年度と比較しても、大きな変化はみられない。

3. 仙台市の魅力

(1) 分野別魅力

問6 仙台市全体についてみた場合、次のような点について、あなたはどの程度魅力を感じていますか。次のA～Oのそれぞれについて、あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

図表Ⅱ-23 分野別魅力

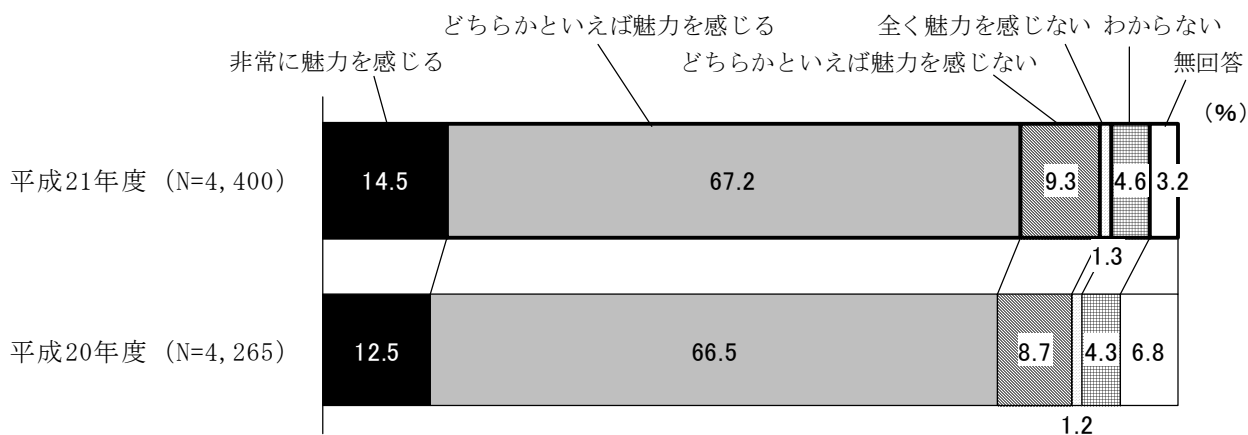


※Oについては、項目を自由記述としているため、集計不可。

(2) 総合的満足度

問7 仙台市を総合的にみた場合、あなたはどの程度魅力を感じていますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

図表Ⅱ-24 総合的満足度



仙台市の魅力についてたずねたところ、p. 23 の図表Ⅱ-23 のとおり、『海・山に近く気軽に自然と親しめること』(35.5%)、『プロスポーツチームの存在』(33.0%)、『七夕や光のページェントなど四季折々の祭り』(32.6%)、『緑豊かな環境』(32.6%)、『四季を通じて穏やかな気候』(31.9%)で「非常に魅力を感じる」が多い。

「非常に魅力を感じる」に「どちらかといえば魅力を感じる」を合わせた“魅力を感じる”は、『緑豊かな環境』(84.8%)が最も多く、次いで、『四季を通じて穏やかな気候』(84.2%)、『海・山に近く気軽に自然と親しめること』(83.8%)、『七夕や光のページェントなど四季折々の祭り』(81.4%)が続く。

その一方で、『市民活動に参加しやすい環境』(32.8%)、『人情味にあふれていること』(43.5%)では“魅力を感じる”という回答が少ない。

「どちらかといえば魅力を感じない」と「全く魅力を感じない」を合わせた“魅力を感じない”では、『市民活動に参加しやすい環境』(39.7%)、『地下鉄や道路網などが整備され交通の便がよいこと』(39.0%)、『人情味にあふれていること』(34.9%)、『商店街の賑わいなどの経済活動』(30.4%)で3割を超えている。

仙台市の魅力については、全般的に自然環境に関する項目の評価が高かった。

仙台市の魅力に関する総合的満足度は、図表Ⅱ-24 のとおり、「どちらかといえば魅力を感じる」が67.2%となっている。これに「非常に魅力を感じる」(14.5%)を合わせた“魅力を感じる”は81.7%となっている。

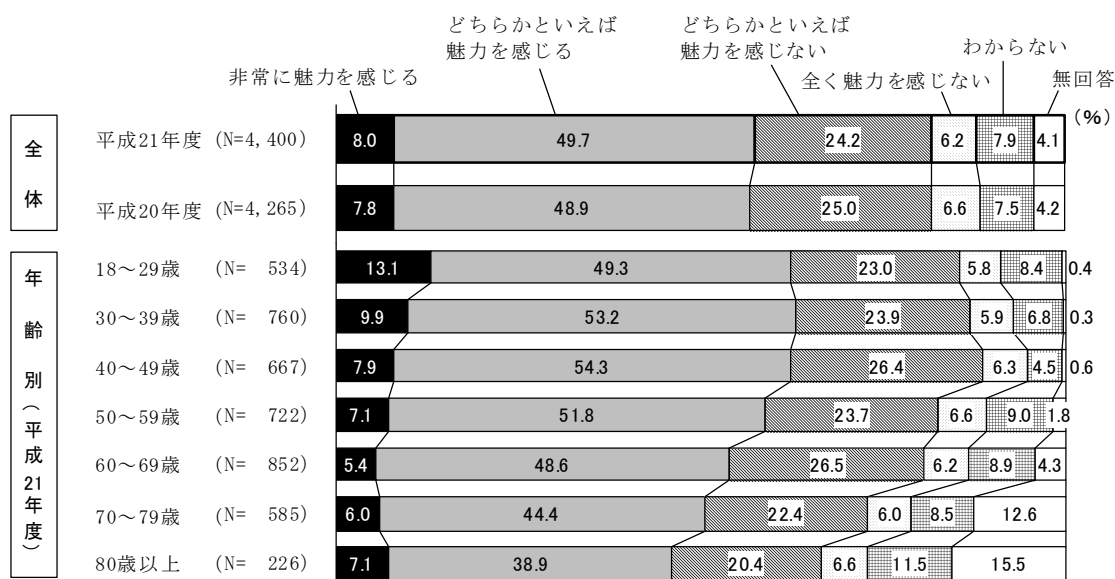
平成20年度と比較しても、大きな変化はみられない。

次ページからは分野ごとに、属性別に分析した結果を掲載する。

(3) 属性別満足度

A. 商店街の賑わいなどの経済活動

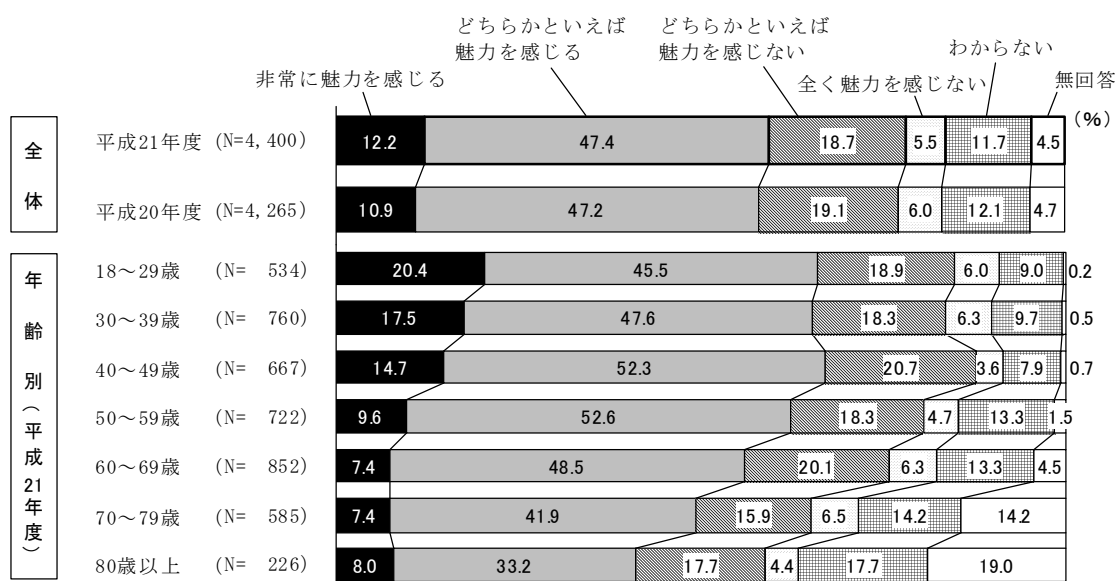
図表Ⅱ-25 商店街の賑わいなどの経済活動（年齢別）



『商店街の賑わいなどの経済活動』を、年齢別でみると、40歳代までは他の年齢層と比べて“魅力を感じる”が多くなっており、6割を超えている。

B. 高度な都市機能がコンパクトにまとまっていること

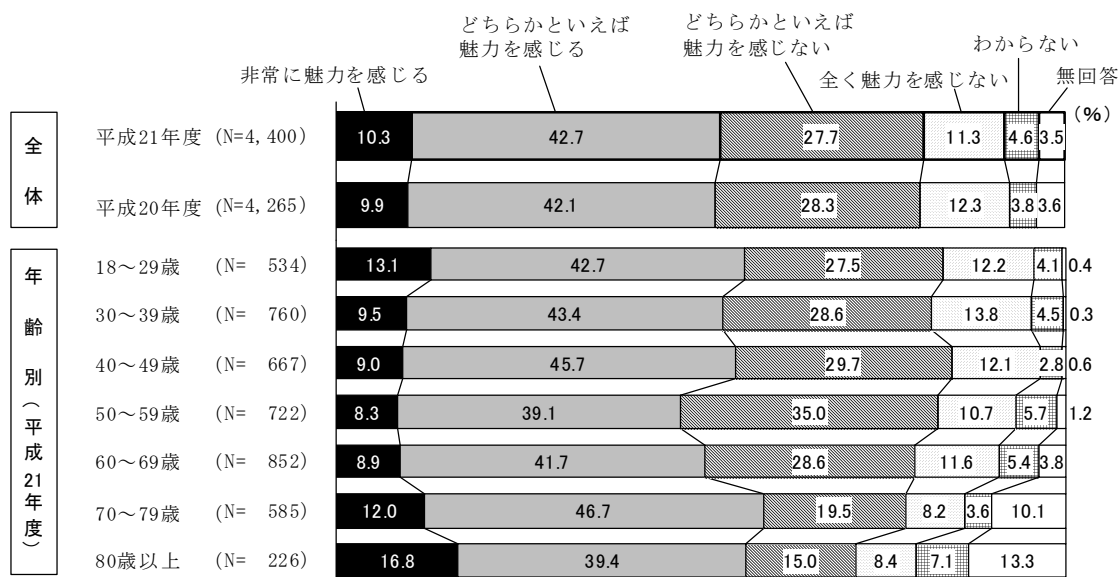
図表Ⅱ-26 高度な都市機能がコンパクトにまとまっていること（年齢別）



『高度な都市機能がコンパクトにまとまっていること』を、年齢別でみると、“魅力を感じる”は、50歳代までは6割を超えている。また、40歳代以上では年齢が上がるにしたがって“魅力を感じる”が減少している。

C. 地下鉄や道路網などが整備され交通の便がよいこと

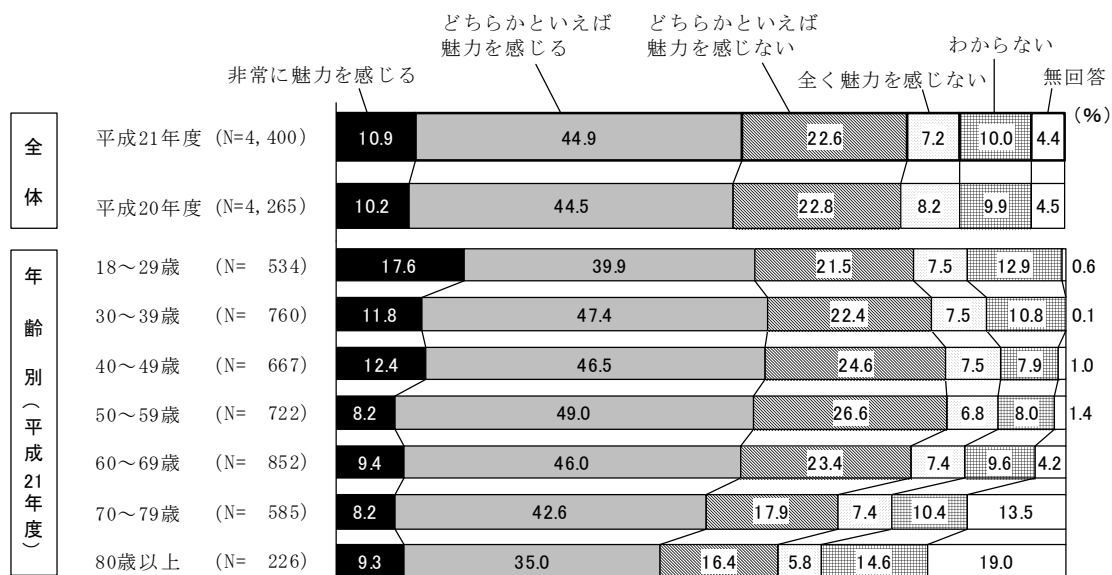
図表Ⅱ-27 地下鉄や道路網などが整備され交通の便がよいこと（年齢別）



『交通の便がよいこと』を、年齢別でみると、“魅力を感じる”は50歳代では5割を下回っているが、それ以外の年齢層では5割を超えている。

D. 音楽や演劇、美術など芸術・文化に親しめる環境

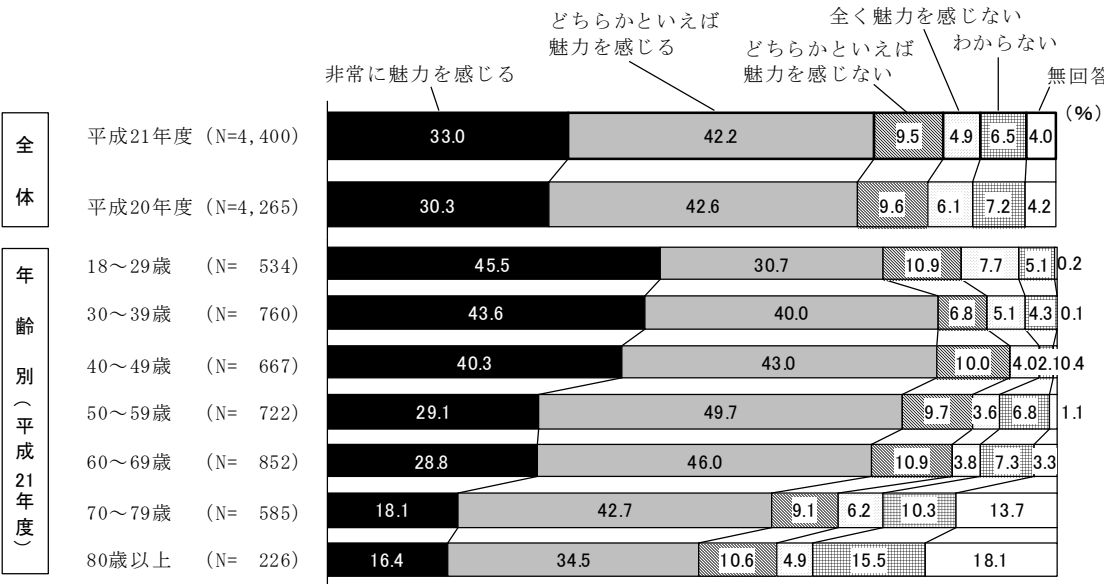
図表Ⅱ-28 音楽や演劇、美術など芸術・文化に親しめる環境（年齢別）



『芸術・文化に親しめる環境』を、年齢別でみると、“魅力を感じる”は、70歳代までは5割を超えている。また、“魅力を感じない”は、50歳代までは年齢が上がるにしたがって増加し、60歳代以上では減少している。

Ⅴ. プロスポーツチームの存在

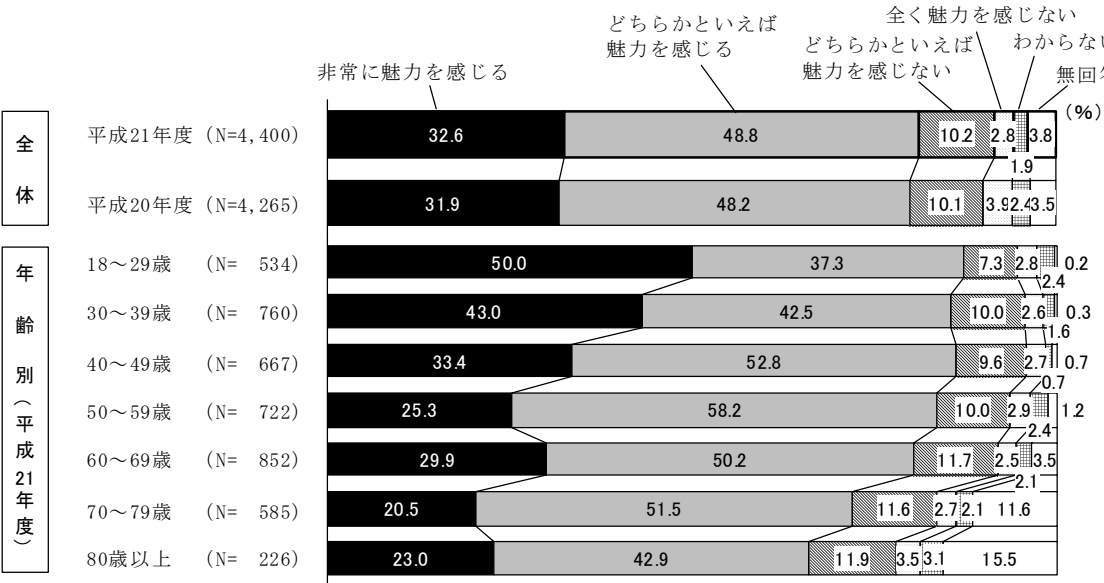
図表Ⅱ-29 プロスポーツチームの存在（年齢別）



『プロスポーツチームの存在』を、年齢別でみると、30～40 歳代では“魅力を感じる”が 8 割を超えている。また、“魅力を感じる”は 30 歳代以上では年齢が上がるにしたがって減少している。

Ⅵ. セタや光のページェントなど四季折々の祭り

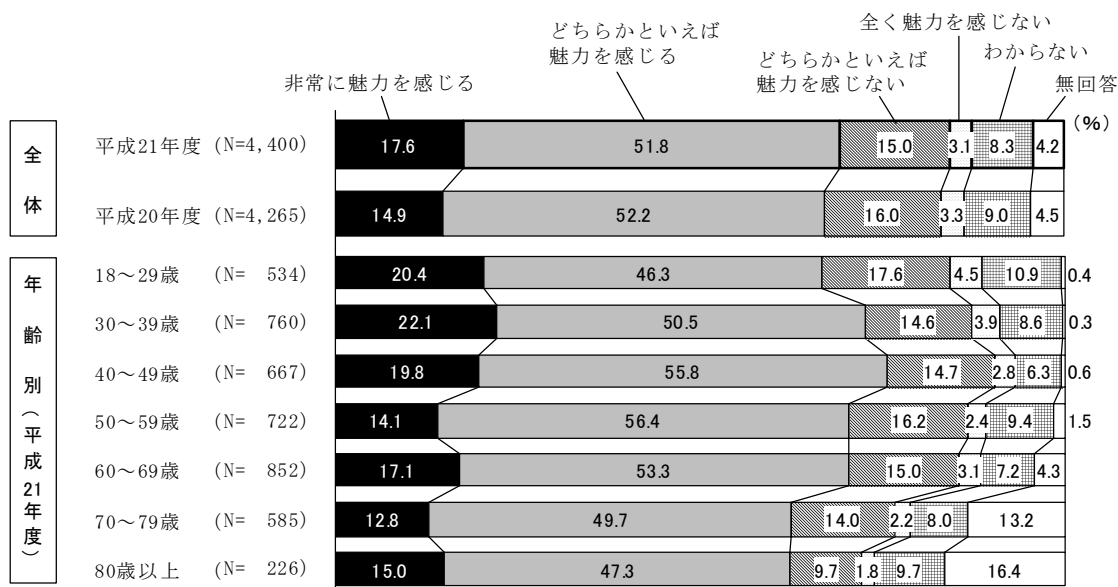
図表Ⅱ-30 セタや光のページェントなど四季折々の祭り（年齢別）



『四季折々の祭り』を、年齢別でみると、年齢が若いほど、“魅力を感じる”は多くなっている。また、60 歳代までは“魅力を感じる”が 8 割を超えている。

G. 歴史や伝統文化

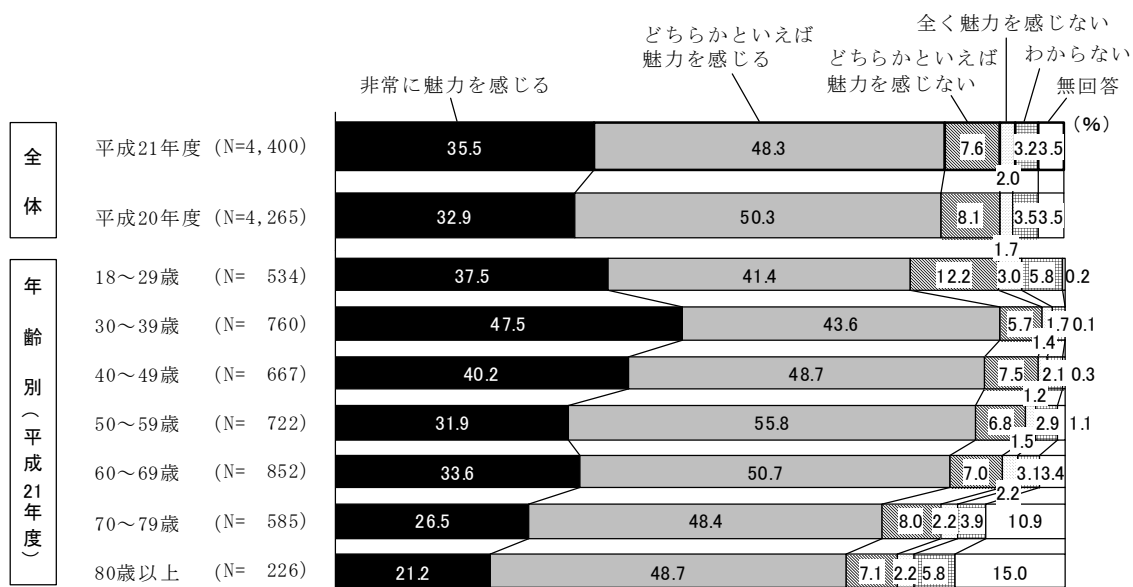
図表Ⅱ－31 歴史や伝統文化（年齢別）



『歴史や伝統文化』を、年齢別でみると、30～60歳代では“魅力を感じる”が7割を超えている。また、70歳代以上で他の年齢層と比べて“魅力を感じる”が少なくなっている。

H. 海・山に近く気軽に自然と親しめること

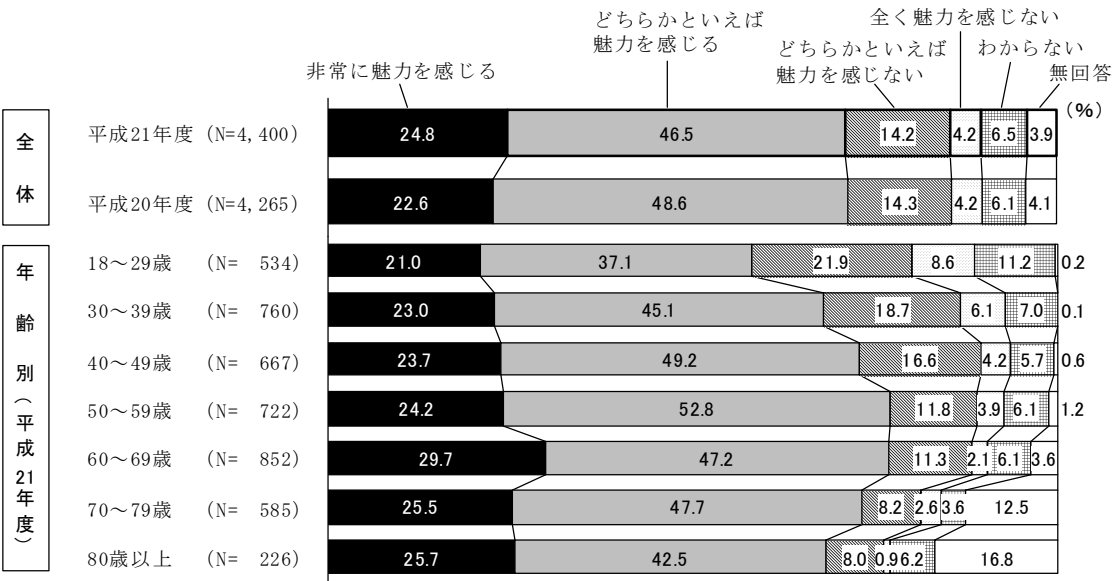
図表Ⅱ－32 海・山に近く気軽に自然と親しめること（年齢別）



『気軽に自然と親しめること』を、年齢別でみると、30～60歳代で“魅力を感じる”が8割を超えている。また、10～20歳代で“魅力を感じる”はやや少ないものの、30歳代以上の年齢層では、年齢が若いほど“魅力を感じる”が多くなっている。

Ⅰ. 都心部を流れる広瀬川

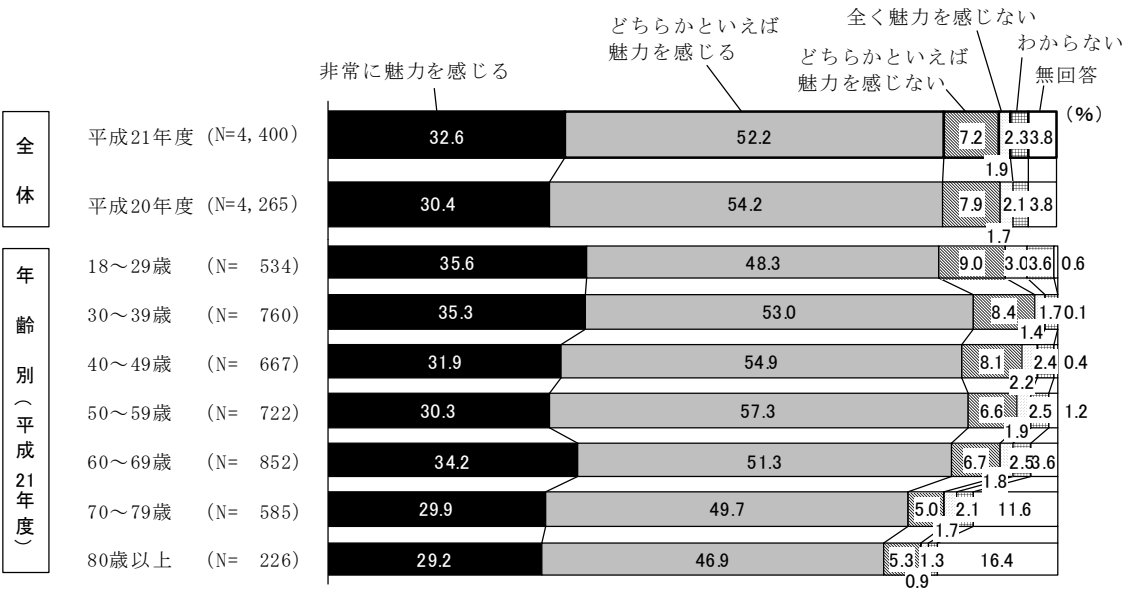
図表Ⅱ－33 都心部を流れる広瀬川（年齢別）



『都心部を流れる広瀬川』を、年齢別でみると、“魅力を感じる”は50歳代までは年齢が上がるほど増加し、60歳代以上では減少している。また、“魅力を感じない”は年齢が上がるにしたがって減少している。

Ⅱ. 緑豊かな環境

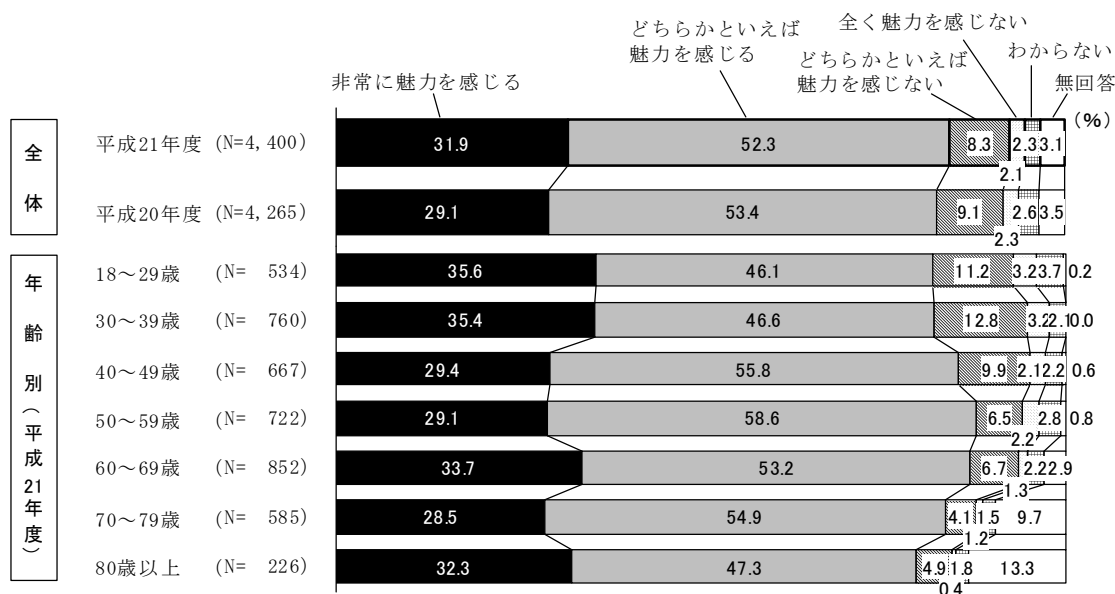
図表Ⅱ－34 緑豊かな環境（年齢別）



『緑豊かな環境』を、年齢別でみると、10～60歳代までは“魅力を感じる”が8割を超えており、30歳代（88.3%）で最も多くなっている。

K. 四季を通じて穏やかな気候

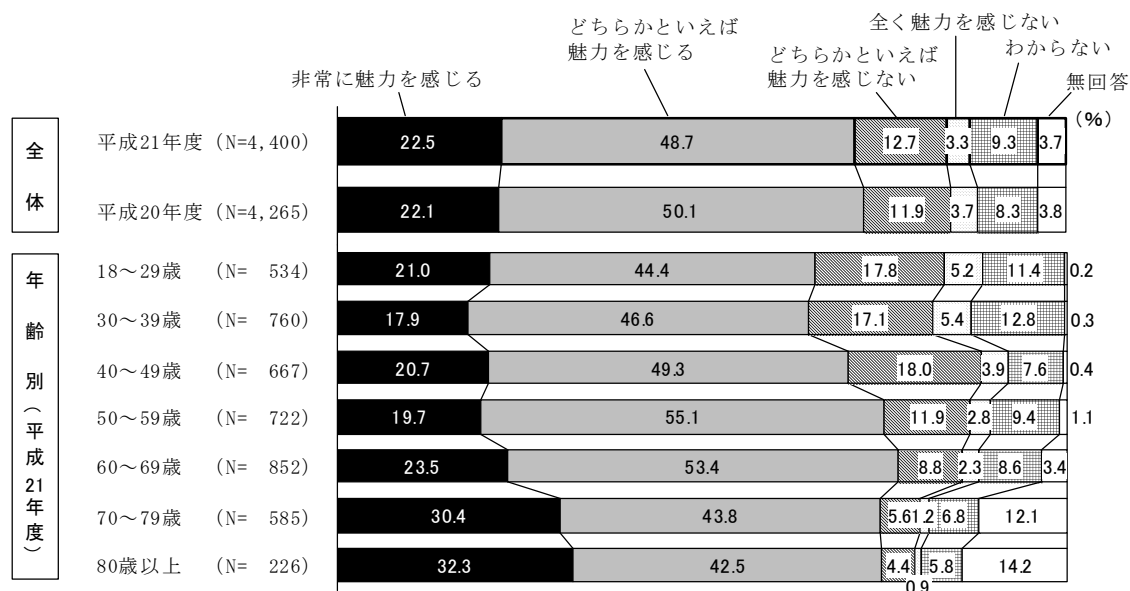
図表Ⅱ－35 四季を通じて穏やかな気候（年齢別）



『四季を通じて穏やかな気候』を、年齢別でみると、70歳代までは“魅力を感じる”が8割を超えており、その中でも40～60歳代で他の年齢層と比べて多くなっている。

L. 大学や専門学校などが多い学都であること

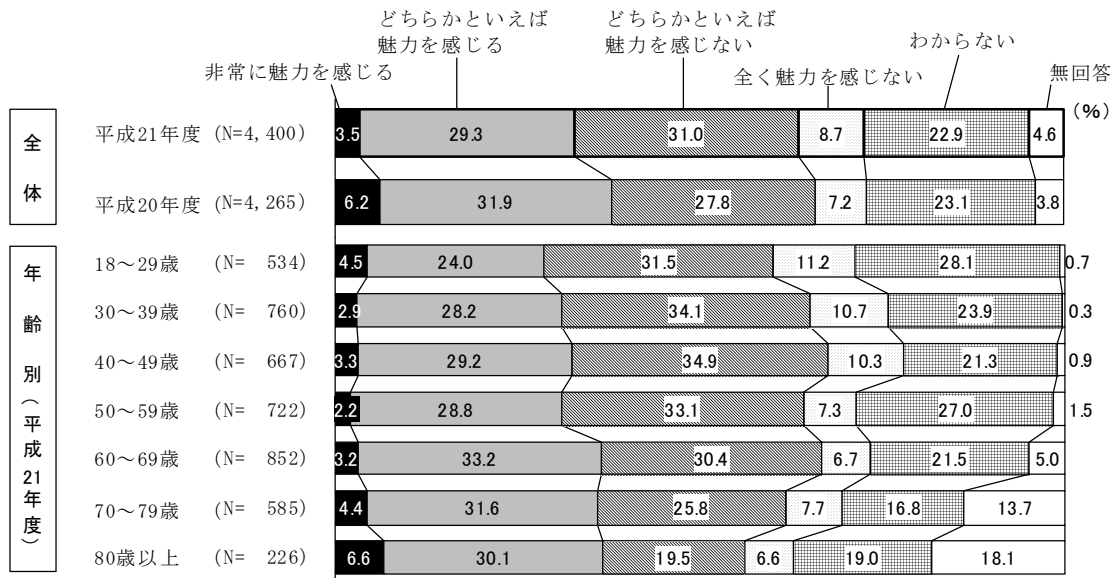
図表Ⅱ－36 大学や専門学校などが多い学都であること（年齢別）



『学都であること』を、年齢別でみると、40歳代以上では“魅力を感じる”は7割を超えている。また、“魅力を感じない”は年齢が上がるにしたがって減少している。

M. 市民活動に参加しやすい環境

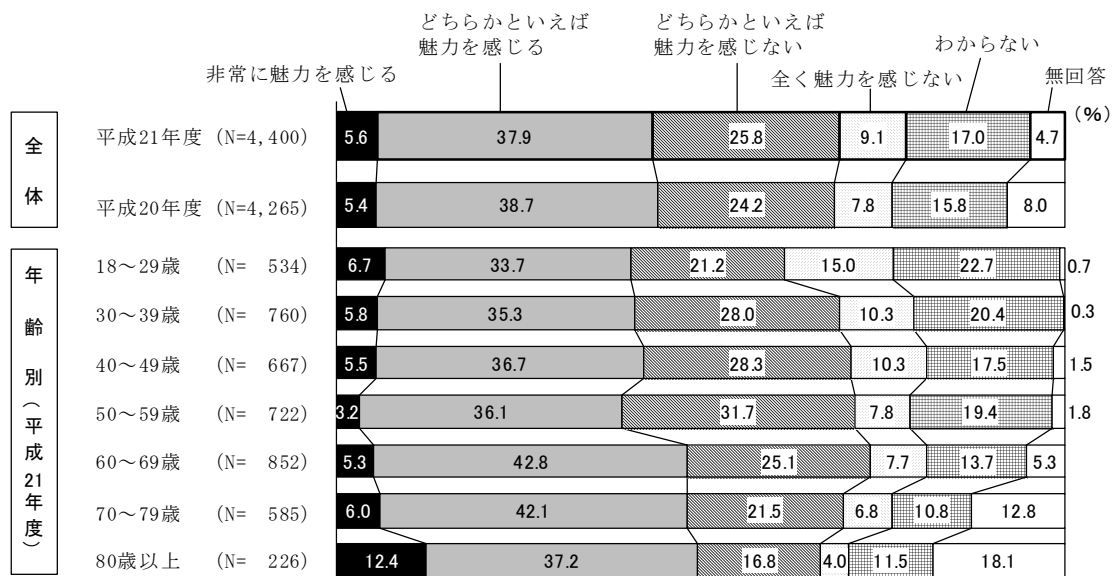
図表Ⅱ－37 市民活動に参加しやすい環境（年齢別）



『市民活動に参加しやすい環境』を、年齢別でみると、60歳代までは“魅力を感じない”が“魅力を感じる”の数値を上回っているが、70歳代以上では逆に“魅力を感じる”が“魅力を感じない”の数値を上回っている。

N. 人情味にあふれていること

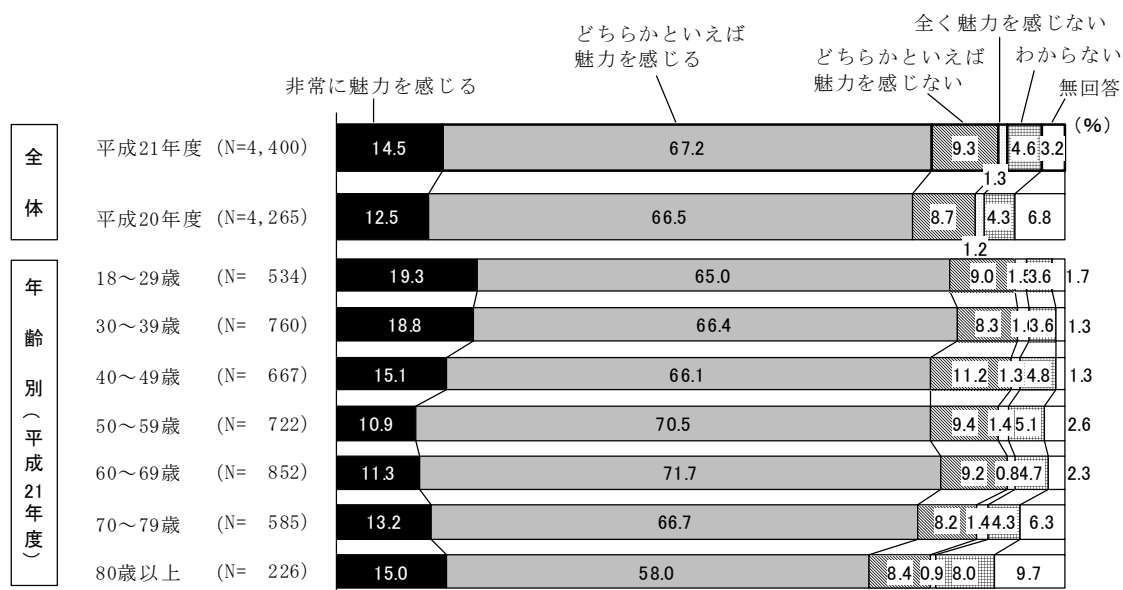
図表Ⅱ－38 人情味にあふれていること（年齢別）



『人情味にあふれていること』を、年齢別でみると、“魅力を感じる”は、60歳代以上で他の年齢層に比べて多くなっているが、全年齢層で5割を下回っている。

総合的満足度（仙台市の魅力）

図表Ⅱ－39 総合的満足度（仙台市の魅力）（年齢別）



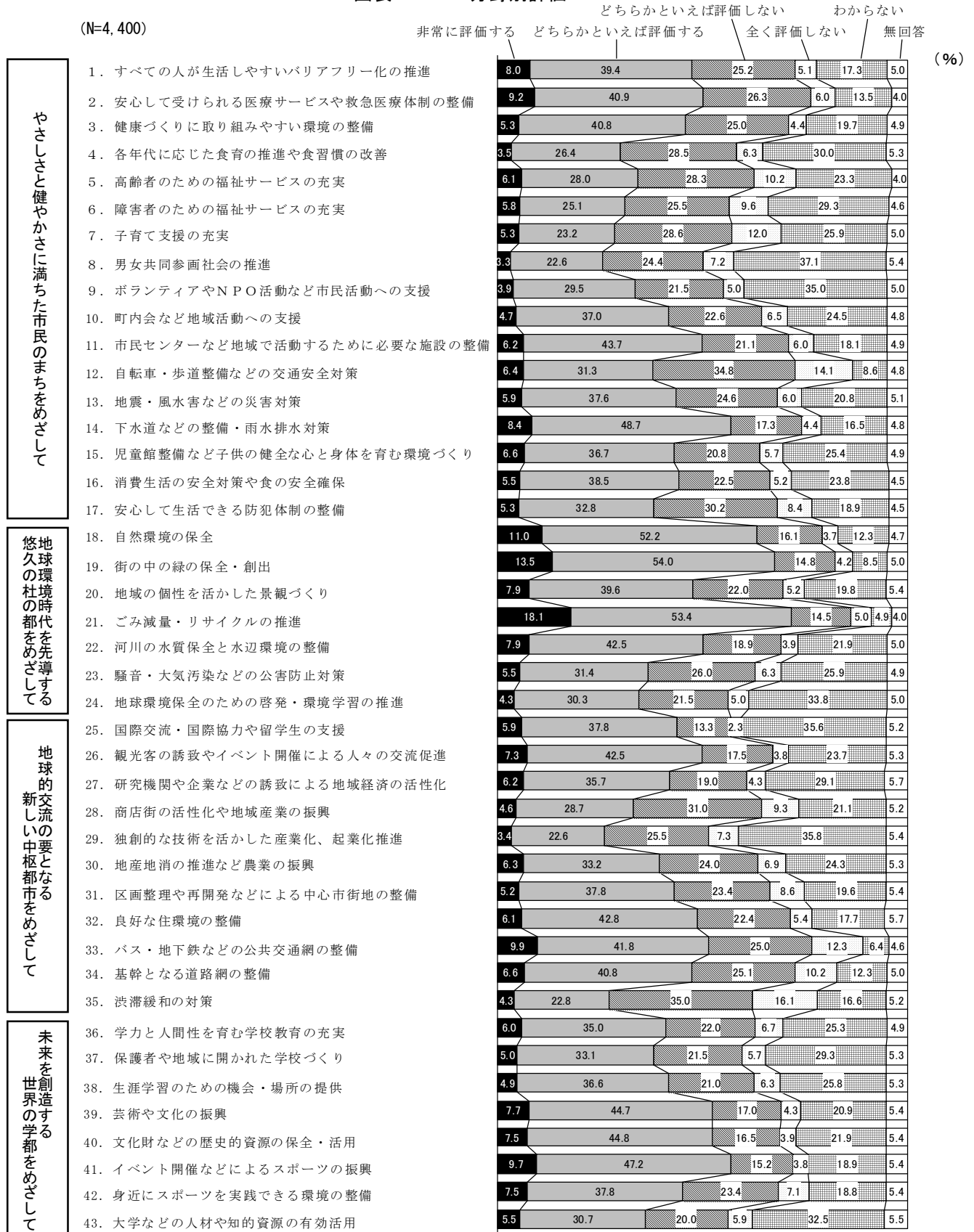
仙台市の魅力についての総合的満足度を、年齢別でみると、“魅力を感じる”は60歳代までは8割を超えている。全体でみると、平成21年度では“魅力を感じる”は81.7%となっており、平成20年度と比べると、2.7ポイント増加している。

4. 仙台市の施策評価

(1) 分野別評価

問8 あなたは、仙台市が現在行っている施策をどの程度評価していますか。次の1～43の施策それぞれについて、あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

図表Ⅱ-40 分野別評価



図表Ⅱ－41 分野別評価の“評価する”（上位5項目の経年比較）

※ “評価する”：「非常に評価する」＋「どちらかといえば評価する」

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
1位	下水道などの整備 70.9%	ごみ減量・リサイクルの推進 57.9%	街の中の緑の保全・創出 61.3%	ごみ減量・リサイクルの推進 71.5%
2位	まちの中の緑の保全・創出 65.5%	街の中の緑の保全・創出 56.0%	自然環境の保全 58.8%	街の中の緑の保全・創出 67.5%
3位	ごみ減量・リサイクル 64.6%	自然環境の保全 55.1%	ごみ減量・リサイクルの推進 58.4%	自然環境の保全 63.2%
4位	自然環境の保全 61.8%	下水道などの整備・雨水排水対策 52.8%	イベント開催などによるスポーツの振興 55.0%	下水道などの整備・雨水排水対策 57.1%
5位	地域で活動するために必要な施設の整備 58.7%	イベント開催などによるスポーツの振興 52.8%	下水道などの整備・雨水排水対策 53.5%	イベント開催などによるスポーツの振興 56.9%

図表Ⅱ－42 分野別評価の“評価しない”（上位5項目の経年比較）

※ “評価しない”：「どちらかといえば評価しない」＋「全く評価しない」

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
1位	渋滞緩和の対策 59.5%	渋滞緩和の対策 53.6%	渋滞緩和の対策 49.8%	渋滞緩和の対策 51.1%
2位	バス・地下鉄などの公共交通網の整備 44.4%	自転車・歩道整備などの交通安全対策 49.1%	自転車・歩道整備などの交通安全対策 47.2%	自転車・歩道整備などの交通安全対策 48.9%
3位	安心して生活できる防犯体制の整備 41.4%	バス・地下鉄などの公共交通網の整備 39.4%	安心して生活できる防犯体制の整備 38.4%	子育て支援の充実 40.6%
4位	商店街の活性化や地域産業の振興 40.7%	安心して生活できる防犯体制の整備 38.8%	商店街の活性化や地域産業の振興 37.7%	商店街の活性化や地域産業の振興 40.3%
5位	幹線となる道路網の整備 40.0%	商店街の活性化や地域産業の振興 36.8%	バス・地下鉄などの公共交通網の整備 37.6%	安心して生活できる防犯体制の整備 38.6%

仙台市の基本構想が定める 4 つの都市像ごとに、仙台市の施策への市民の評価をみると、p. 33 の図表Ⅱ－40 のとおり、【やさしさと健やかさに満ちた市民のまちをめざして】においては、『下水道などの整備・雨水排水対策』や『安心して受けられる医療サービスや救急医療体制の整備』『市民センターなど地域で活動するために必要な施設の整備』などの項目の“評価する”（「非常に評価する」＋「どちらかといえば評価する」）割合が高く、『自転車・歩道整備などの交通安全対策』や『安心して生活できる防犯体制の整備』など安心安全に関する分野の項目の“評価しない”（「全く評価しない」＋「どちらかといえば評価しない」）割合が高い。

【地球環境時代を先導する悠久の杜の都をめざして】においては、『ごみ減量・リサイクルの推進』や『街の中の緑の保全・創出』、『自然環境の保全』などの“評価する”割合が高く、『騒音・大気汚染などの公害防止対策』や『地域の個性を活かした景観づくり』など公害・景観などに関する項目の“評価しない”割合が高い。

【地球的交流の要となる新しい中枢都市をめざして】においては、『バス・地下鉄などの公共交通網の整備』や『観光客の誘致やイベント開催による人々の交流促進』などの項目の“評価する”割合が高く、『渋滞緩和の対策』や『商店街の活性化や地域産業の振興』、『バス・地下鉄などの公共交通網の整備』の項目の“評価しない”割合が高い。『バス・地下鉄などの公共交通網の整備』については、“評価する”、“評価しない”とも割合が高く、評価がわかれる結果となった。

【未来を創造する世界の学都をめざして】においては、『イベント開催などによるスポーツの振興』や『芸術や文化の振興』、『文化財などの歴史的資源の保全・活用』などの項目の“評価する”割合が高く、『身近にスポーツを実践できる環境の整備』や『学力と人間性を育む学校教育の充実』の項目の“評価しない”割合が高い。スポーツの分野では、イベント開催などのソフト面の充実では評価が高いが、スポーツ施設などのハード面の整備では評価が低いという傾向がみられる。

仙台市の 43 項目の施策に対する評価の上位 5 項目を抜き出した表が、p. 34 の図表Ⅱ－41、図表Ⅱ－42 である。平成 21 年度の“評価する”の上位 5 項目は、p. 34 の図表Ⅱ－41 のとおり、『ごみ減量・リサイクルの推進』、『街の中の緑の保全・創出』、『自然環境の保全』、『下水道などの整備・雨水排水対策』、『イベント開催などによるスポーツの振興』の順となっており、いずれも 5 割を超えている。上位の項目をみると、自然環境に関する項目の評価が高いという傾向がみられる。

平成 21 年度の“評価しない”の上位 5 項目は、図表 p. 34 のⅡ－42 のとおり、『渋滞緩和の対策』、『自転車・歩道整備などの交通安全対策』、『子育て支援の充実』、『商店街の活性化や地域産業の振興』、『安心して生活できる防犯体制の整備』の順に評価が低く、特に交通に関する項目の評価が低いという傾向がみられる。

施策評価の経年比較をみると、“評価する”では、p. 34 の図表Ⅱ－41 のとおり、上位 5 項目は平成 20 年度と同じであるが、順位は全て入れ替わっている。

“評価しない”では、p. 34 の図表Ⅱ－42 のとおり、平成 18～21 年度とも『渋滞緩和の対策』が第 1 位であり、第 2 位は平成 20 年度と同じく『自転車・歩道整備などの交通安全対策』であった。いずれも交通に関する項目の評価が低いという傾向がみられる。第 3 位は新規項目の『子育て支援の充実』であった。

図表Ⅱ－43 分野別評価の評価度（経年比較）－平成21年度順位

※評価度：“評価する”－“評価しない”

項 目	H18	H19	H20	H21	H21 順位
（やさしさと健やかさに満ちた市民のまちをめざして）					
1. すべての人が生活しやすいバリアフリー化の推進	15.2	13.3	16.4	17.1	16
2. 安心して受けられる医療サービスや救急医療体制の整備	16.9	12.5	13.0	17.8	15
3. 健康づくりに取り組みやすい環境の整備	17.7	12.8	13.1	16.7	18
4. 各年代に応じた食育の推進や食習慣の改善（H19～）	—	△5.8	△4.5	△4.9	37
5. 高齢者のための福祉サービスの充実	4.6	1.0	△4.0	△4.4	36
6. 障害者のための福祉サービスの充実	△0.9	△2.9	△2.5	△4.2	35
7. 子育て支援の充実（～H18 子育て支援や青少年の健全育成）	△7.1	△7.4	△3.7	△12.1	42
8. 男女共同参画社会の推進	△4.1	△4.7	△3.2	△5.7	38
9. ボランティアやNPO活動など市民活動への支援（～H18 市民公益活動への支援）	10.3	6.4	9.8	6.9	32
10. 町内会など地域活動への支援	11.3	8.7	15.9	12.6	24
11. 市民センターなど地域で活動するために必要な施設の整備	34.0	22.3	22.4	22.8	11
12. 自転車・歩道整備などの交通安全対策（H19～）	—	△15.4	△10.5	△11.2	41
13. 地震・風水害などの災害対策	9.5	5.5	6.0	12.9	23
14. 下水道などの整備・雨水排水対策（～H18 下水道などの整備）	57.9	30.8	33.1	35.4	5
15. 児童館整備など子供の健全な心と身体を育む環境づくり（～H18 子どもが遊べる公園や広場の整備）	9.0	16.5	19.7	16.8	17
16. 消費生活の安全対策や食の安全確保（～H18 消費者の保護・支援・相談）	0.2	5.6	3.7	16.3	19
17. 安心して生活できる防犯体制の整備	△8.9	△5.9	△3.1	△0.5	34
（地球環境時代を先導する悠久の杜の都をめざして）					
18. 自然環境の保全	40.1	31.4	38.0	43.4	3
19. 街の中の緑の保全・創出	44.7	29.9	38.7	48.5	2
20. 地域の個性を活かした景観づくり	11.7	7.4	15.7	20.3	13
21. ごみ減量・リサイクルの推進	41.2	30.1	31.3	52.0	1
22. 河川の水質保全と水辺環境の整備	19.8	21.8	26.1	27.6	10
23. 騒音・大気汚染などの公害防止対策（～H19 騒音・振動などの公害防止や環境汚染対策）	△3.8	0.6	5.1	4.6	33
24. 地球環境保全のための啓発・環境学習の推進	△1.9	1.1	4.4	8.1	31
（地球的交流の要となる新しい中核都市をめざして）					
25. 国際交流・国際協力や留学生の支援	28.0	28.4	29.8	28.1	9
26. 観光客の誘致やイベント開催による人々の交流促進	18.9	22.6	25.7	28.5	8
27. 研究機関や企業などの誘致による地域経済の活性化（H20～）	—	—	24.4	18.6	14
28. 商店街の活性化や地域産業の振興	△5.9	△3.0	△4.6	△7.0	40
29. 独創的な技術を活かした産業化、起業化推進（～H19 独創的な技術を活かした産業、起業化推進）	△12.4	△8.9	△3.4	△6.8	39
30. 地産地消の推進など農業の振興（～H18 都市型農業の振興）	△12.8	△3.6	2.0	8.6	30
31. 区画整理や再開発などによる中心市街地の整備	7.7	10.4	12.5	11.0	27
32. 良好な住環境の整備	11.2	13.3	19.1	21.1	12
33. バス・地下鉄などの公共交通網の整備	△1.0	6.5	10.2	14.4	21
34. 基幹となる道路網の整備	3.2	8.2	12.2	12.1	26
35. 渋滞緩和の対策	△37.5	△30.0	△24.3	△24.0	43
（未来を創造する世界の学都をめざして）					
36. 学力と人間性を育む学校教育の充実（～H18 小・中・高等学校の教育環境の整備）	10.8	0.7	7.9	12.3	25
37. 保護者や地域に開かれた学校づくり（H19～）	—	4.7	9.7	10.9	28
38. 生涯学習のための機会・場所の提供	△0.3	8.2	12.9	14.2	22
39. 芸術や文化の振興	21.1	23.9	28.2	31.1	7
40. 文化財などの歴史的資源の保全・活用（H19～）	—	24.9	30.9	31.9	6
41. イベント開催などによるスポーツの振興（～H18 スポーツの振興）	28.5	33.5	36.6	37.9	4
42. 身近にスポーツを実践できる環境の整備（H19～）	—	11.0	15.4	14.8	20
43. 大学などの人材や知的資源の有効活用（H19～）	—	8.2	11.0	10.3	29

図表Ⅱ－44 分野別評価の評価度（上位5項目の経年比較）

※評価度：“評価する”－“評価しない”

	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
1 位	下水道などの整備 57.9 ポイント	イベント開催などによる スポーツの振興 33.5 ポイント	街の中の緑の保全・創出 38.7 ポイント	ごみ減量・リサイクルの推 進 52.0 ポイント
2 位	まちの中の緑の保全・創出 44.7 ポイント	自然環境の保全 31.4 ポイント	自然環境の保全 38.0 ポイント	街の中の緑の保全・創出 48.5 ポイント
3 位	ごみ減量・リサイクル 41.2 ポイント	下水道などの整備・雨水排 水対策 30.8 ポイント	イベント開催などによる スポーツの振興 36.6 ポイント	自然環境の保全 43.4 ポイント
4 位	自然環境の保全 40.1 ポイント	ごみ減量・リサイクルの推 進 30.1 ポイント	下水道などの整備・雨水排 水対策 33.1 ポイント	イベント開催などによる スポーツの振興 37.9 ポイント
5 位	地域で活動するために必要 な施設の整備 34.0 ポイント	街の中の緑の保全・創出 29.9 ポイント	ごみ減量・リサイクルの推 進 31.3 ポイント	下水道などの整備・雨水排 水対策 35.4 ポイント

図表Ⅱ－45 分野別評価の評価度（下位5項目の経年比較）

※評価度：“評価する”－“評価しない”

	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
1 位	渋滞緩和の対策 △37.5 ポイント	渋滞緩和の対策 △30.0 ポイント	渋滞緩和の対策 △24.3 ポイント	渋滞緩和の対策 △24.0 ポイント
2 位	都市型農業の振興 △12.8 ポイント	自転車・歩道整備などの交 通安全対策 △15.4 ポイント	自転車・歩道整備などの交 通安全対策 △10.5 ポイント	子育て支援の充実 △12.1 ポイント
3 位	独創的な技術を活かした 産業、起業化推進 △12.4 ポイント	独創的な技術を活かした 産業、起業化推進 △8.9 ポイント	商店街の活性化や地域産 業の振興 △4.6 ポイント	自転車・歩道整備などの交 通安全対策 △11.2 ポイント
4 位	安心して生活できる防犯 体制の整備 △8.9 ポイント	子育て支援の充実 △7.4 ポイント	各年代に応じた食育の推 進や食習慣の改善 △4.5 ポイント	商店街の活性化や地域産 業の振興 △7.0 ポイント
5 位	子育て支援や青少年の健 全育成 △7.1 ポイント	安心して生活できる防犯 体制の整備 △5.9 ポイント	高齢者のための福祉サー ビスの充実 △4.0 ポイント	独創的な技術を活かした 産業化、起業化推進 △6.8 ポイント

“評価する” から “評価しない” を減算した「評価度」の平成 21 年度の上位及び下位 5 項目の状況をみてみると、上位 5 項目は、p. 37 の図表Ⅱ－44 のとおり、『ごみ減量・リサイクルの推進』、『街の中の緑の保全・創出』、『自然環境の保全』、『イベント開催などによるスポーツの振興』、『下水道などの整備・雨水排水対策』で評価度が高く、特に『ごみ減量・リサイクルの推進』は 50 ポイントを超えている。

一方、下位 5 項目は、図表 p. 37 のⅡ－45 のとおり、『渋滞緩和の対策』、『子育て支援の充実』、『自転車・歩道整備などの交通安全対策』、『商店街の活性化や地域産業の振興』、『独創的な技術を活かした産業化、起業化推進』で、「評価度」がマイナスになっている。

「評価度」の数値を前年度調査と比較してみると、p. 36 の図表Ⅱ－43 のとおり、『ごみ減量・リサイクルの推進』(20.7 ポイント上昇)、『消費生活の安全対策や食の安全確保』(12.4 ポイント上昇)、『街の中の緑の保全・創出』(9.8 ポイント上昇) で前年度より大幅に上がっている一方、『子育て支援の充実』(8.4 ポイント低下) で前年度より大幅に下がっている。

また、過去 3 年間の推移を見てみると、『安心して生活できる防犯体制の整備』、『地産地消の推進など農業の振興』、『バス・地下鉄などの公共交通網の整備』、『イベントの開催などによるスポーツの振興』などでは年々評価度が上がっている。

「評価度」の平成 18～21 年度の上位及び下位 5 項目の経年比較をみてみると、上位 5 項目は p. 37 の図表Ⅱ－44 のとおり、平成 21 年度では、『ごみ減量・リサイクルの推進』、『街の中の緑の保全・創出』、『自然環境の保全』、『イベント開催などによるスポーツの振興』、『下水道などの整備・雨水排水対策』と順位は全て入れ替わっているが、平成 20 年度と同じ項目である。特に、『イベント開催などによるスポーツの振興』以外の 4 項目は、平成 18～21 年度の上位 5 位以内に入っている。

一方、下位 5 項目は p. 37 の図表Ⅱ－45 のとおり、平成 18～21 年度とも、『渋滞緩和の対策』が第 1 位となっているが、数値的には年々改善傾向がみられる。第 2 位は昨年度項目に入っていなかった『子育て支援の充実』となっている。第 3 位、第 4 位は『自転車・歩道整備などの交通安全対策』、『商店街の活性化や地域産業の振興』と昨年度と同じ項目が入っているが、第 5 位は『独創的な技術を活かした産業化、起業化推進』となっている。

平成 21 年度の図表 p. 34 のⅡ－41 の“評価する” の上位 5 項目と、p. 37 の図表Ⅱ－44 の「評価度」の上位 5 項目をみてみると、上位 3 項目はどちらも『ごみ減量・リサイクルの推進』、『街の中の緑の保全・創出』、『自然環境の保全』となっている。第 4 位以下は順位こそ異なるが、項目は同じであった。

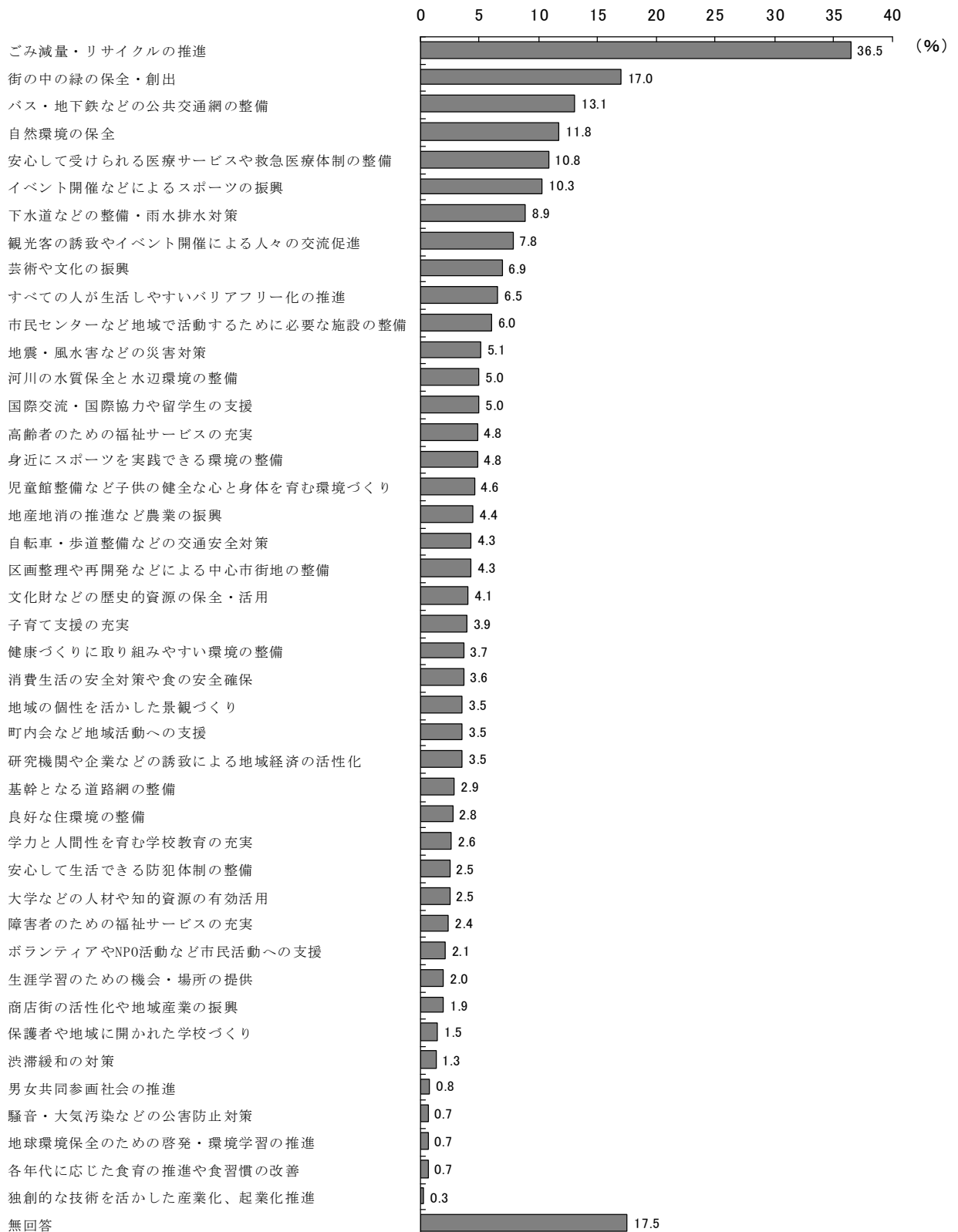
一方、平成 21 年度の p. 34 の図表Ⅱ－42 の“評価しない” と、p. 37 の図表Ⅱ－45 の「評価度」の下位 5 項目をみてみると、第 1 位はどちらも『渋滞緩和の対策』であった。第 2 位から第 4 位については順位こそ異なるが、項目は同じであった。

- | | | |
|-----------|---|-----------------------------|
| ・ “評価する” | = | 「非常に評価する」 + 「どちらかといえば評価する」 |
| ・ “評価しない” | = | 「どちらかといえば評価しない」 + 「全く評価しない」 |
| ・ 評価度 | = | “評価する” - “評価しない” |

(2) 評価できると思う施策

総括〔1〕 上記1～43の施策のうち、これまでの仙台市の取り組みとして評価できると思う施策について、3つまで選んでその番号(1～43)を右欄に記入してください。

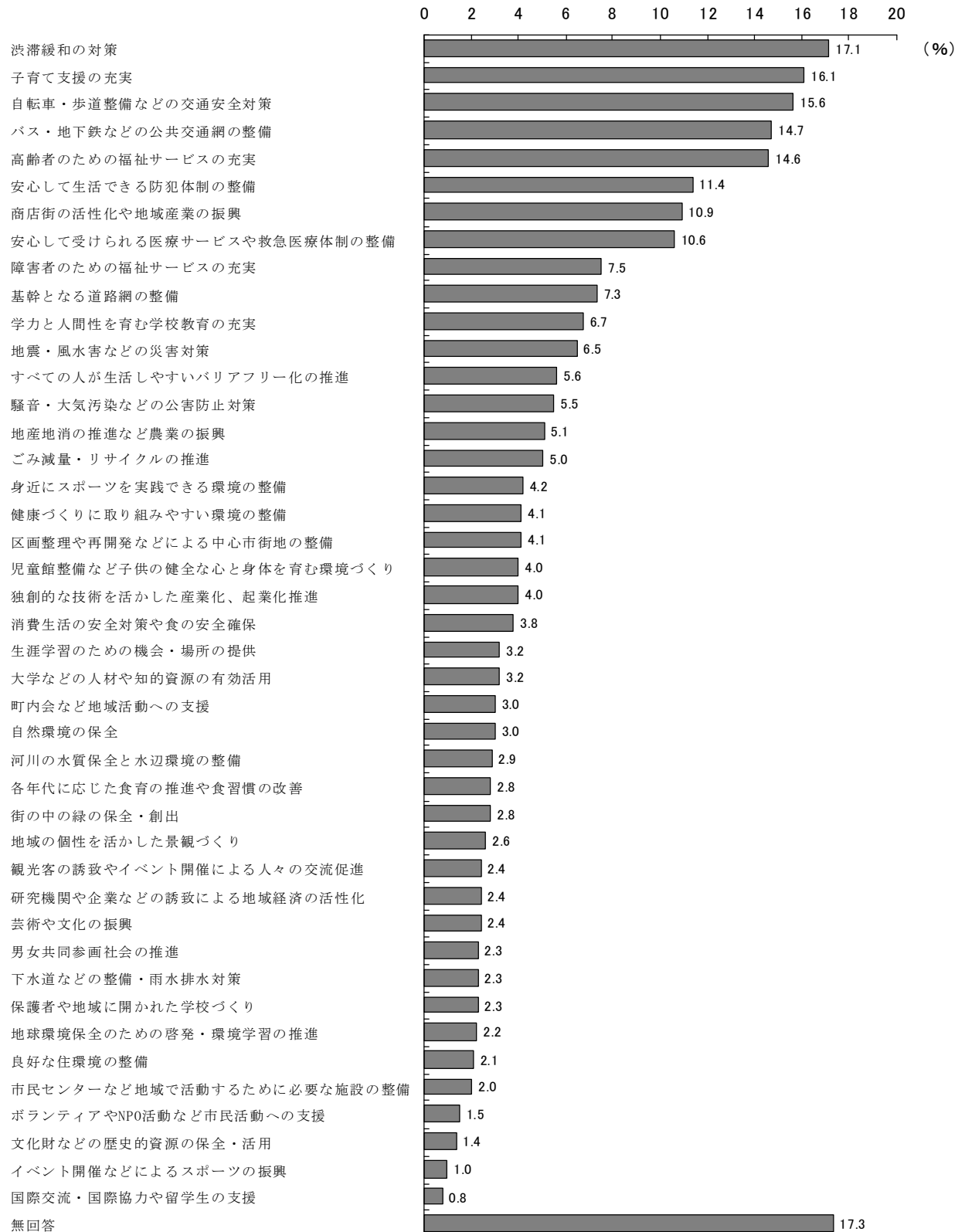
図表Ⅱ－46 評価できると思う施策



(3) 不十分だと思う施策

総括〔2〕 上記1～43の施策のうち、これまでの仙台市の取り組みとして**不十分だと思う施策**について、**3つまで選んでその番号(1～43)を右欄に記入してください。**

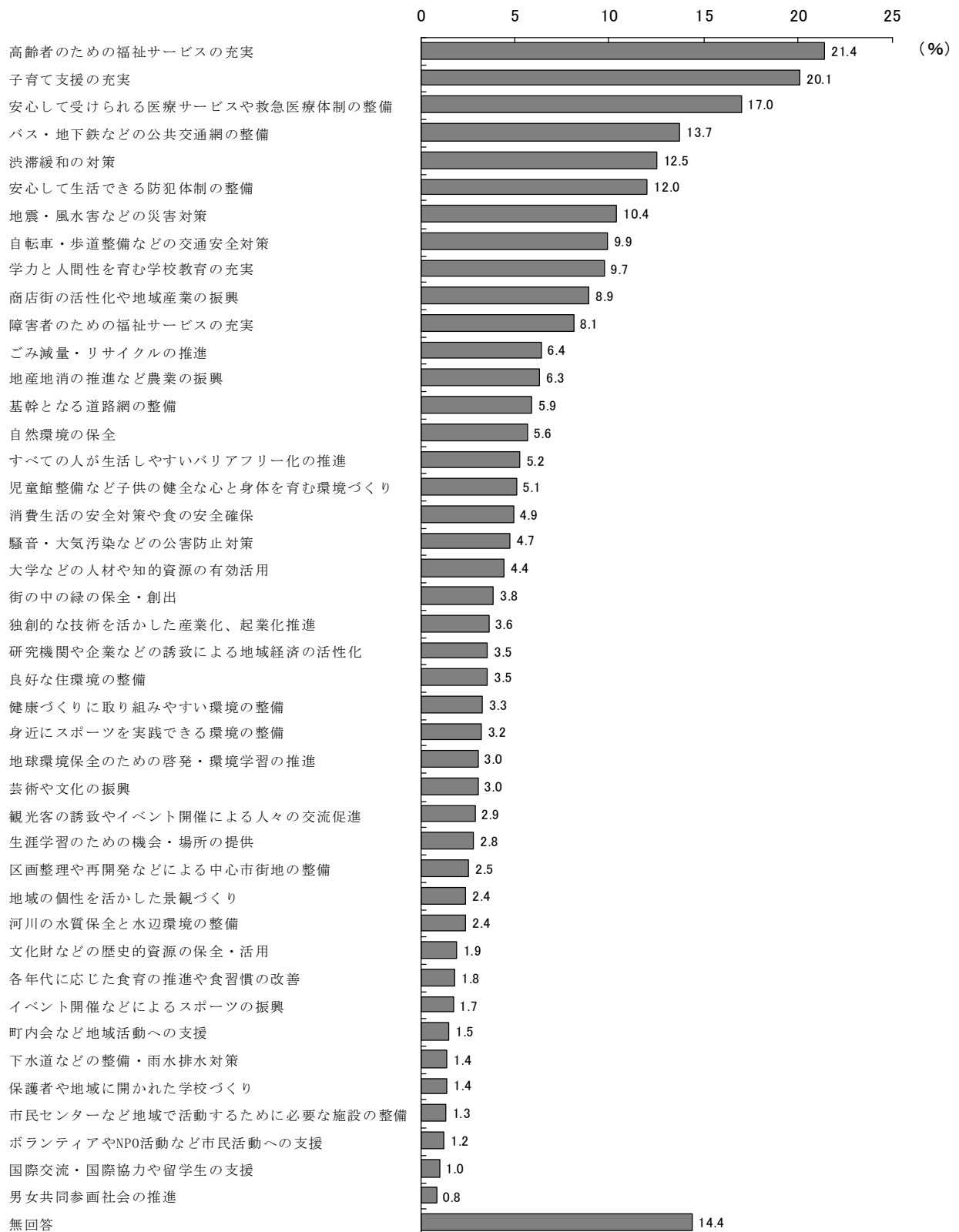
図表Ⅱ－47 不十分だと思う施策



(4) 今後特に力を入れていくべきだと思う施策

総括〔3〕 上記1～43の施策のうち、仙台市の取り組みとして**今後特に力を入れていくべきだと思う施策**について、**3つまで選んでその番号(1～43)を右欄に記入してください。**
 ※総括〔1〕及び〔2〕で選んだ番号を、重複して選んでも構いません。

図表Ⅱ－48 今後特に力を入れていくべきだと思う施策



図表Ⅱ－49 評価できると思う施策（上位5項目の経年比較）

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
1位	ごみ減量・リサイクルの推進 25.5%	ごみ減量・リサイクルの推進 25.0%	ごみ減量・リサイクルの推進 36.5%
2位	街の中の緑の保全・創出 12.6%	街の中の緑の保全・創出 14.9%	街の中の緑の保全・創出 17.0%
3位	バス・地下鉄などの公共交通網の整備 11.5%	バス・地下鉄などの公共交通網の整備 12.1%	バス・地下鉄などの公共交通網の整備 13.1%
4位	安心して受けられる医療サービス や救急医療体制の整備 10.9%	自然環境の保全 10.5%	自然環境の保全 11.8%
5位	自然環境の保全 10.5%	イベント開催などによるスポーツ の振興 10.2%	安心して受けられる医療サービス や救急医療体制の整備 10.8%

図表Ⅱ－50 不十分だと思う施策（上位5項目の経年比較）

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
1位	渋滞緩和の対策 20.0%	渋滞緩和の対策 16.6%	渋滞緩和の対策 17.1%
2位	自転車・歩道整備などの交通安全対策 16.8%	自転車・歩道整備などの交通安全対策 16.1%	子育て支援の充実 16.1%
3位	バス・地下鉄などの公共交通網の整備 13.8%	バス・地下鉄などの公共交通網の整備 13.6% 高齢者のための福祉サービスの充実 13.6%	自転車・歩道整備などの交通安全対策 15.6%
4位	高齢者のための福祉サービスの充実 11.3%	—	バス・地下鉄などの公共交通網の整備 14.7%
5位	安心して受けられる医療サービス や救急医療体制の整備 11.2% 安心して生活できる防犯体制の整備 11.2%	安心して受けられる医療サービス や救急医療体制の整備 10.8%	高齢者のための福祉サービスの充実 14.6%

図表Ⅱ－51 今後特に力を入れていくべきだと思う施策（上位5項目の経年比較）

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
1 位	安心して受けられる医療サービス や救急医療体制の整備 16.9%	高齢者のための福祉サービスの充 実 20.0%	高齢者のための福祉サービスの充 実 21.4%
2 位	高齢者のための福祉サービスの充 実 16.8%	安心して受けられる医療サービス や救急医療体制の整備 18.2%	子育て支援の充実 20.1%
3 位	渋滞緩和の対策 15.5%	子育て支援の充実 13.7%	安心して受けられる医療サービ ス や救急医療体制の整備 17.0%
4 位	子育て支援の充実 14.1%	安心して生活できる防犯体制の整 備 13.0%	バス・地下鉄などの公共交通網の整 備 13.7%
5 位	安心して生活できる防犯体制の整 備 13.4%	地震・風水害などの災害対策 12.6%	渋滞緩和の対策 12.5%

仙台市の施策評価の最後に、総括質問として、〔１〕これまでの仙台市の取り組みとして評価できると思う施策、〔２〕不十分だと思う施策、〔３〕今後特に力を入れていくべきだと思う施策に関して、43 項目の施策のうちからそれぞれ 3 項目までを選択する設問の結果については、p. 39～41 の図表Ⅱ－46～48 のとおりである。p. 42～43 の図表Ⅱ－49～51 では、総括質問〔１〕～〔３〕の今年度の上位 5 項目と経年比較した。

〔１〕これまでの仙台市の取り組みとして評価できると思う施策については、p. 39 の図表Ⅱ－46 のとおり、『ごみ減量・リサイクルの推進』（36.5%）が最も多く、以下、『街の中の緑の保全・創出』（17.0%）、『バス・地下鉄などの公共交通網の整備』（13.1%）、『自然環境の保全』（11.8%）、『安心して受けられる医療サービスや救急医療体制の整備』（10.8%）の順となっている。総括質問〔１〕の第 1 位、第 2 位は、p. 34 の図表Ⅱ－41 の“評価する”や、p. 37 の図表Ⅱ－44 の「評価度」の平成 21 年度の項目と同じ結果となった。総括質問〔１〕の第 3 位『バス・地下鉄などの公共交通機関網の整備』及び第 5 位『安心して受けられる医療サービスや救急医療体制の整備』は、p. 34 の図表Ⅱ－41 の“評価する”や、p. 37 の図表Ⅱ－44 の「評価度」の上位 5 項目に選ばれておらず、若干異なる結果となっている。

平成 20 年度と 21 年度の上位 5 項目を比較すると、p. 42 の図表Ⅱ－49 のとおり、上位 4 項目は全く同じであるが、第 5 位は『安心して受けられる医療サービスや救急医療体制の整備』となっている。

〔２〕不十分だと思う施策については、p. 40 の図表Ⅱ－47 のとおり、『渋滞緩和の対策』（17.1%）が最も多く、以下、『子育て支援の充実』（16.1%）、『自転車・歩道整備などの交通安全対策』（15.6%）、『バス・地下鉄などの公共交通網の整備』（14.7%）、『高齢者のための福祉サービスの充実』（14.6%）の順となっている。総括質問〔２〕の上位 3 項目は、p. 34 の図表Ⅱ－42 の“評価しない”や、p. 37 の図表Ⅱ－45 の「評価度」（下位 5 項目）の平成 21 年度の項目と同じであるが順位は入れ替わっている。総括質問〔２〕の第 4 位『バス・地下鉄などの公共交通網の整備』及び第 5 位『高齢者のための福祉サービスの充実』は、p. 34 の図表Ⅱ－42 の“評価しない”や、p. 37 の図表Ⅱ－45 の「評価度」（下位 5 項目）に選ばれておらず、若干異なる結果となっている。

平成 20 年度と 21 年度の上位 5 項目を比較すると、項目はほぼ同じであるが、平成 20 年度に入っていなかった『子育て支援の充実』が平成 21 年度では第 2 位になっている。

〔３〕今後特に力を入れていくべきだと思う施策については、p. 41 の図表Ⅱ－48 のとおり、『高齢者のための福祉サービスの充実』（21.4%）が最も多く、以下、『子育て支援の充実』（20.1%）、『安心して受けられる医療サービスや救急医療体制の整備』（17.0%）、『バス・地下鉄などの公共交通網の整備』（13.7%）、『渋滞緩和の対策』（12.5%）の順となっている。医療、福祉に関する項目が上位に選ばれている。

総括質問〔３〕の結果の上位 10 項目については、総括質問〔２〕不十分だと思う施策の上位 10 項目と順位の違いはあるが、ほぼ同じ項目が選ばれており、両者にはある程度の相関関係があると言える。言い換えれば、「不十分だと思う施策」が「今後特に力を入れていくべきだと思う施策」であると考えている市民が多いということになる。

平成 20 年度と 21 年度の上位 5 項目を比較すると、p. 42 の図表Ⅱ－51 のとおり、第 1 位はと

もに『高齢者のための福祉サービスの充実』であるが、第2位と第3位は順位が入れ替わっている。また平成20年度で第6位、第7位であった『バス・地下鉄などの公共交通網の整備』、『渋滞緩和の対策』は、平成21年度ではそれぞれ第4位、第5位に上がっている。

5. 自由意見

市政全般に関する自由意見を取りまとめたところ、以下ようになった。
意見の件数は複数回答の取り扱いとしている。

(1) 市政全般に関するご意見

◆大分類

分類項目	件数
1 市政に対する意見	2,129 件
2 アンケートに対する意見	54 件
3 その他	45 件
総意見数（回答者数 1,473 名）	2,228 件

◆中分類（※大分類 1「市政に対する意見」を細分化）

分類項目	件数
1 生活基盤・環境	303 件
2 交通	417 件
3 健康・福祉	400 件
4 地域経済	133 件
5 教育・文化	123 件
6 地域づくり	68 件
7 その他（市政関連）	685 件
総意見数	2,129 件

◆小分類（※中分類をさらに細分化）

	分類項目	件数
生活基盤・環境	1 良好な住環境の整備	52 件
	2 防犯体制の整備	47 件
	3 緑の保全・創出について	46 件
	4 街並みの保存や景観について	35 件
	5 ごみ有料化	29 件
	6 ごみ減量・リサイクル	22 件
	7 地震などの防災対策について	20 件
	8 バリアフリーのまちづくり	17 件
	9 公害防止などの地域環境の保全	9 件
	10 温暖化防止などの地球環境保全	3 件
	11 その他（ごみのポイ捨てについてなど）	23 件
交通	1 公共交通（バス・地下鉄）について	203 件
	2 身近な生活道路の整備や管理	84 件
	3 交通マナー・公共交通機関でのマナーについて	33 件
	4 道路整備など渋滞緩和について	32 件
	5 基幹となる道路網の整備	20 件
	6 タクシーについて	15 件
	7 道案内やサイン等の不足・不備について	7 件
	8 その他（駐車場・駐輪場についてなど）	23 件

分類項目		件数
健康・福祉	1 高齢者福祉について	99 件
	2 子育て支援や青少年の健全育成	87 件
	3 保育所の整備や相談事業等の子育て支援	70 件
	4 医療（救急を除く）について	41 件
	5 子どもの育つ環境について	27 件
	6 障害者のための福祉サービス	23 件
	7 救急体制について	19 件
	8 児童・青少年健全育成の施設・サービス	12 件
	9 生活保護について	3 件
	10 その他（福祉施設職員についてなど）	19 件
地域経済	1 雇用対策	31 件
	2 新観光資源やイベント開催でのまちづくり	28 件
	3 商店街の活性化や地域産業の振興	24 件
	4 都市再開発や市街地の活性化	18 件
	5 地産地消の推進など農業政策について	15 件
	6 その他（仙台市の魅力づくりについてなど）	17 件
教育・文化	1 教育環境について	66 件
	2 芸術や文化の振興	13 件
	3 生涯学習のための機会・場の提供	10 件
	4 スポーツのための施設・サービス	9 件
	5 その他（国際交流についてなど）	25 件
地域づくり	1 町内会について	15 件
	2 行政サービス等に関する各種情報提供	7 件
	3 市民参加によるまちづくりへの取り組み	6 件
	4 その他（特色ある地域づくりについてなど）	40 件
その他（市政関連）	1 行政運営全般	247 件
	2 （前）市長について	174 件
	3 窓口サービスや職員について	92 件
	4 税	74 件
	5 ガス・水道・下水道	18 件
	6 広報について	10 件
	7 プロスポーツについて	9 件
	8 住宅	8 件
	9 国民健康保険	7 件
	10 市民生活全般（マナー、近隣関係ほか）	4 件
	11 その他（公共施設についてなど）	42 件
総意見数		2,129 件

市政全般に関するご意見の主なものについて、小分類の分類項目ごとに件数が多かった順にみると、最も意見の多い分野である「行政運営全般（247 件）」では、市政運営の市民への説明が足りないという意見や財政健全化を望む意見などが寄せられている。以下、「公共交通（バス・地下鉄）について（203 件）」については、公共交通網や料金体系の見直しを望む意見、「高齢者福祉について（99 件）」については、老人介護施設の増設を望む意見、「窓口サービスや職員について（92 件）」については、区役所職員の窓口業務の改善を望む意見、「子育て支援や青少年の健

全育成（87 件）」については、子どもを産み、育てる環境の充実を望む意見、「身近な生活道路の整備や管理（84 件）」については、歩道や自転車道の整備に関する意見などが多く寄せられている。

(2) 仙台の街の「良いところ」「将来に引き継いでいきたいところ」に関するご意見

◆大分類

分類項目	件数
1 仙台の街の「良いところ」「将来に引き継いでいきたいところ」	3,517 件
2 アンケートに対する意見	0 件
3 その他	49 件
総意見数（回答者数 2,121 名）	3,566 件

◆中分類（※大分類 1 仙台の街の「良いところ」「将来に引き継いでいきたいところ」を細分化）

分類項目	件数
1 生活基盤・環境	2,195 件
2 交通	118 件
3 健康・福祉	63 件
4 地域経済	477 件
5 教育・文化	341 件
6 地域づくり	139 件
7 その他	184 件
総意見数	3,517 件

◆小分類（※中分類をさらに細分化）

	分類項目	件数
生活基盤・環境	1 緑の保全・創出について	1,107 件
	2 良好な住環境の整備	329 件
	3 街並みの保存や景観について	221 件
	4 ごみ減量・リサイクル	33 件
	5 防犯体制の整備	20 件
	6 地震などの防災対策について	12 件
	7 温暖化防止などの地球環境保全	5 件
	8 公害防止などの地域環境の保全	4 件
	9 ごみ有料化	3 件
	10 バリアフリーのまちづくり	2 件
	11 その他（ごみのポイ捨てがない街についてなど）	459 件
交通	1 公共交通（バス・地下鉄）について	56 件
	2 道路整備など渋滞緩和について	11 件
	3 身近な生活道路の整備や管理	10 件
	4 基幹となる道路網の整備	6 件
	5 交通マナー・公共交通機関でのマナーについて	4 件
	6 タクシーについて	0 件
	6 道案内やサイン等の不足・不備について	0 件
	8 その他（駐車場・駐輪場についてなど）	31 件

分類項目		件数
健康・福祉	1 子育て支援や青少年の健全育成	13 件
	2 高齢者福祉について	12 件
	3 医療（救急を除く）について	11 件
	4 子どもの育つ環境について	9 件
	5 救急体制について	6 件
	6 障害者のための福祉サービス	3 件
	7 保育所の整備や相談事業等の子育て支援	2 件
	8 児童・青少年健全育成の施設・サービス	1 件
	9 生活保護について	0 件
	10 その他（福祉施設職員についてなど）	6 件
地域経済	1 新観光資源やイベント開催でのまちづくり	290 件
	2 地産地消の推進など農業政策について	91 件
	3 商店街の活性化や地域産業の振興	40 件
	4 都市再開発や市街地の活性化	27 件
	5 雇用対策	1 件
	6 その他（仙台市の魅力づくりについてなど）	28 件
教育・文化	1 芸術や文化の振興	116 件
	2 教育環境について	89 件
	3 スポーツのための施設・サービス	25 件
	4 生涯学習のための機会・場所の提供	2 件
	5 その他（国際交流についてなど）	109 件
地域づくり	1 市民参加によるまちづくりへの取り組み	8 件
	2 町内会について	5 件
	3 行政サービス等に関する各種情報提供	1 件
	4 その他（特色ある地域づくりについてなど）	125 件
その他（市政関連）	1 プロスポーツについて	92 件
	2 市民生活全般（マナー、近隣関係ほか）	50 件
	3 行政運営全般	19 件
	4 ガス・水道・下水道	6 件
	5 窓口サービスや職員について	1 件
	6 住宅	1 件
	7 税	0 件
	7 （前）市長について	0 件
	7 国民健康保険	0 件
	7 広報について	0 件
	11 その他（公共施設についてなど）	15 件
総意見数		3,517 件

仙台の街の「良いところ」「将来引き継いでいきたいところ」に関するご意見の主なものについて、小分類の分類項目ごとに件数が多かった順に見てみると、最も多かったものは「緑の保全・創出について（1,107 件）」であり、緑が多く美しい街であるという意見や緑の豊かさを維持してほしいという意見が寄せられている。以下、「その他（ごみのポイ捨てがない街についてなど）（459 件）」については、街にゴミがなくきれいであるという意見や街の中の広瀬川の清流を守ってほしいという意見、「良好な住環境の整備（329 件）」については、都会と自然が融合しており住み

やすいという意見、「新観光資源やイベント開催でのまちづくり（290 件）」については、仙台市独特のイベント、四季折々のお祭りをこれからも大切にしたいという意見、「街並みの保存や景観について（221 件）」については、ケヤキ並木の美しい街並みは仙台の誇りでありいつまでも守って欲しいという意見などが多く寄せられている。

(3) 仙台の街の「良くなってほしいところ」「足りないと思うところ」に関するご意見

◆大分類

分類項目	件数
1 仙台の街の「良くなってほしいところ」「足りないと思うところ」	3,364 件
2 アンケートに対する意見	2 件
3 その他	22 件
総意見数（回答者数 2,138 名）	3,388 件

◆中分類（※大分類 1 仙台の街の「良くなってほしいところ」「足りないと思うところ」を細分化）

分類項目	件数
1 生活基盤・環境	627 件
2 交通	948 件
3 健康・福祉	593 件
4 地域経済	446 件
5 教育・文化	246 件
6 地域づくり	85 件
7 その他	419 件
総意見数	3,364 件

◆小分類（※中分類をさらに細分化）

分類項目		件数
生活基盤・環境	1 緑の保全・創出について	120 件
	2 防犯体制の整備	119 件
	3 良好な住環境の整備	99 件
	4 街並みの保存や景観について	74 件
	5 地震などの防災対策について	34 件
	6 バリアフリーのまちづくり	28 件
	7 ごみ減量・リサイクル	26 件
	8 公害防止などの地域環境の保全	17 件
	9 温暖化防止などの地球環境保全	13 件
	10 ごみ有料化	11 件
	11 その他（ごみのポイ捨てについてなど）	86 件
交通	1 公共交通（バス・地下鉄）について	390 件
	2 身近な生活道路の整備や管理	152 件
	3 道路整備など渋滞緩和について	129 件
	4 交通マナー・公共交通機関でのマナーについて	93 件
	5 基幹となる道路網の整備	51 件
	6 タクシーについて	28 件
	7 道案内やサイン等の不足・不備について	26 件
	8 その他（駐車場・駐輪場についてなど）	79 件

分類項目		件数
健康・福祉	1 高齢者福祉について	124 件
	2 子育て支援や青少年の健全育成	107 件
	3 保育所の整備や相談事業等の子育て支援	94 件
	4 医療（救急を除く）について	92 件
	5 子どもの育つ環境について	55 件
	6 障害者のための福祉サービス	35 件
	7 救急体制について	32 件
	8 児童・青少年健全育成の施設・サービス	8 件
	9 生活保護について	0 件
	10 その他（福祉施設職員についてなど）	46 件
地域経済	1 商店街の活性化や地域産業の振興	130 件
	2 新観光資源やイベント開催でのまちづくり	90 件
	3 雇用対策	50 件
	4 都市再開発や市街地の活性化	40 件
	5 地産地消の推進など農業政策について	32 件
	6 その他（仙台市の魅力づくりについてなど）	104 件
教育・文化	1 教育環境について	95 件
	2 芸術や文化の振興	68 件
	3 スポーツのための施設・サービス	30 件
	4 生涯学習のための機会・場所の提供	10 件
	5 その他（国際交流についてなど）	43 件
地域づくり	1 市民参加によるまちづくりへの取り組み	11 件
	2 行政サービス等に関する各種情報提供	9 件
	3 町内会について	5 件
	4 その他（特色ある地域づくりについてなど）	60 件
その他（市政関連）	1 行政運営全般	147 件
	2 市民生活全般（マナー、近隣関係ほか）	71 件
	3 （前）市長について	42 件
	4 窓口サービスや職員について	37 件
	5 税	28 件
	6 ガス・水道・下水道	15 件
	7 プロスポーツについて	10 件
	8 住宅	8 件
	9 広報について	6 件
	10 国民健康保険	2 件
	11 その他（公共施設についてなど）	53 件
総意見数		3,364 件

仙台の街の「良くなってほしいところ」「足りないと思うところ」に関する主なものについて、小分類の分類項目ごとに件数が多かった順にみると、最も多い分野の意見である「公共交通（バス・地下鉄）について（390 件）」では、バスの本数をもっと多くしてほしいという意見や公共交通の運賃を安くしてほしいという意見が寄せられている。以下、「身近な生活道路の整備や管理（152 件）」については、歩道や自転車道の更なる整備を望む意見、「行政運営全般（147 件）」については、市政の長期的なビジョンが欠けているという意見、「商店街の活性化や地域産業の

振興（130 件）」については、地元の商店街が独自色を出して活性化してほしいという意見、「道路整備などの渋滞緩和について（129 件）」については、朝夕の交通渋滞がひどいので緩和してほしいという意見などが多く寄せられている。

なお、寄せられた意見については、各部署に配布するなどして今後の市政運営への活用を図っていくほか、まちづくりの基本方針（総合計画）策定の参考させていただく。

Ⅲ. 資 料

平成 21 年度仙台市施策目標調査への ご協力のお願い

市民の皆さまへ

新緑の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。市民の皆さまには、日頃より仙台市政の運営に多大なるご協力をいただき、厚く感謝申しあげます。

この調査は、本市が重点的に取り組んでいる施策に対する評価などを、市民の皆さまにお聞きするもので、ご意見は今後の本市施策運営に活かしてまいります。なお、調査結果につきましては、本市のホームページなどにより、皆さまにお知らせいたします。

調査の実施にあたりまして、ご協力いただく方については、区ごとの人数などを考慮した上で、住民基本台帳から無作為に選ばせていただいております。

調査票に関しましては、無記名でお答えいただき、その結果は、例えば「1 番の意見の方が計何人で、全体の何パーセント」などのように統計的に集計しますので、個人にご迷惑のかかるようなことはございません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査にご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成 21 年 5 月
仙 台 市

お問合せ先

※お問合せは平日の 9：00～17：00 までをお願いいたします。

仙台市企画市民局総合政策部総合計画課 電話 022-214-8031・8034

＊ ＊ ご記入にあたってのお願い ＊ ＊

1. ご回答は、必ず**ご本人が無記名**で行ってください。
2. ご回答は、(1)質問ごとに、あてはまる番号を 1 つ選んで、番号に○をつけてください。
(2)問 8 の総括[1]～[3]は、それぞれ 3 つまで選んで、番号をお書きください。
(3)「その他」を選んだ場合は、() 内に具体的な内容をお書きください。
3. ご記入が終わりましたら、記入内容をお確かめのうえ、**専用の返信用封筒（切手不要）に本調査票を封入し、平成 21 年 5 月 25 日(月)**までにご投函ください。

※返信用封筒表面のバーコード、郵便番号下の 3 桁の数字は、料金受取人払いとするため郵便局からの指示で印刷したもので、ご回答された方を特定するものではありません。
4. ご回答の際、不明な点がございましたら、上記までお問い合わせください。

* * * 平成 21 年度仙台市施策目標調査票 * * *

はじめに、仙台市でのお住まいの様子についておたずねします。

問 1 あなたは仙台市（合併前の旧市・町を含む。以下同じ。）にお住まいになって何年になりますか。あてはまるものを 1つ選んで、番号に○をつけてください。

※一度市外に転出して、また転入した方は、通算の年数をお答えください。

1 1 年未満	2 1～3 年未満	3 3～5 年未満	4 5～10 年未満
5 10～20 年未満	6 20～30 年未満	7 30 年以上	

問 2 あなたは仙台市に住む以前（直前）は、どちらに住んでいましたか。あてはまるものを 1つ選んで、番号に○をつけてください。

1 仙台市を除く宮城県内	2 青森県・岩手県・秋田県・山形県・福島県
3 首都圏（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）	4 国内のその他の地域
5 外国	6 生まれてからずっと仙台市に住んでいる

→ **問 2-1**

問 2 で「1」～「5」とお答えの方におたずねします。仙台に引っ越してきた理由は何ですか。もっともあてはまるものを 1つ選んで、番号に○をつけてください。

1 就学のため	2 就職・就業のため
3 自分や家族の転勤のため	4 結婚のため
5 親族と同居または近くに住むため	6 仙台に魅力を感じたため
7 定年のため	8 その他（ ）

問 3 あなたは、今お住まいのところの生活環境について、どの程度満足していますか。次の A～O のそれぞれについて、あてはまるものを 1つ選んで、番号に○をつけてください。

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	わから ない
A. 地震・風水害などの自然災害に対する安全性	1	2	3	4	5
B. 防犯上の安全性	1	2	3	4	5
C. 交通事故に対する安全性	1	2	3	4	5
D. 通勤・通学の利便性	1	2	3	4	5
E. 普段の買物などの日常生活の利便性	1	2	3	4	5
F. 病院や診療所の利用のしやすさ	1	2	3	4	5
G. 公共交通機関の利用のしやすさ	1	2	3	4	5
H. 空気や水などのきれいさ	1	2	3	4	5
I. 家のまわりの静けさ	1	2	3	4	5
J. 公園や緑の豊かさ	1	2	3	4	5

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	わから ない
K. 保育所や子供の遊び場などの子育て環境	1	2	3	4	5
L. 休日・夜間などの救急医療体制	1	2	3	4	5
M. 図書館や文化施設などの利用のしやすさ	1	2	3	4	5
N. スポーツ施設などの利用のしやすさ	1	2	3	4	5
O. 近所づきあいなどの人間関係	1	2	3	4	5

問 4 現在お住まいの環境を総合的にみた場合、あなたはどの程度満足していますか。あてはまるものを 1つ選んで、番号に○をつけてください。

1 満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらかといえば不満
4 不満	5 わからない	

問 5 あなたは、今お住まいのところに将来もずっと住みつづけたいと思いますか。あなたのお気持ちに近いと思うものを 1つ選んで、番号に○をつけてください。
※就職、転勤や結婚などによる引越しがたいものとしてお答えください。

1 住みつづけたい	2 市内の別のところへ移りたい
3 市外へ移りたい	4 わからない

仙台市の魅力についておたずねします。

問 6 仙台市全体についてみた場合、次のような点について、あなたはどの程度魅力を感じていますか。次のA～Oのそれぞれについて、あてはまるものを 1つ選んで、番号に○をつけてください。

	非常に 魅力を感じ る	どちらか といえば 魅力を感じ る	どちらか といえば 魅力を感じ ない	全く 魅力を感じ ない	わから ない
A. 商店街の賑わいなどの経済活動	1	2	3	4	5
B. 高度な都市機能がコンパクトにまとまっていること	1	2	3	4	5
C. 地下鉄や道路網などが整備され交通の便がよいこと	1	2	3	4	5
D. 音楽や演劇、美術など芸術・文化に親しめる環境	1	2	3	4	5
E. プロスポーツチームの存在	1	2	3	4	5
F. 七夕や光のページェントなど四季折々の祭り	1	2	3	4	5
G. 歴史や伝統文化	1	2	3	4	5
H. 海・山に近く気軽に自然と親しめること	1	2	3	4	5
I. 都心部を流れる広瀬川	1	2	3	4	5
J. 緑豊かな環境	1	2	3	4	5
K. 四季を通じて穏やかな気候	1	2	3	4	5
L. 大学や専門学校などが多い学都であること	1	2	3	4	5
M. 市民活動に参加しやすい環境	1	2	3	4	5

	非常に 魅力を 感じる	どちらか といえば 魅力を 感じる	どちらか といえば 魅力を 感じない	全く 魅力を 感じない	わから ない
N. 人情味にあふれていること	1	2	3	4	5
O. その他（ ）	1	2	3	4	5

問7 仙台市を総合的にみた場合、あなたはどの程度魅力を感じていますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

1 非常に魅力を感じる	2 どちらかといえば魅力を感じる
3 どちらかといえば魅力を感じない	4 全く魅力を感じない
5 わからない	

仙台市が行っている施策に対する評価をおたずねします。

問8 あなたは、仙台市が現在行っている施策をどの程度評価していますか。次の1～43の施策それぞれについて、あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

		非常に 評価 する	どちら かとい えば 評価 する	どちら かとい えば 評価 しない	全く 評価 しない	わから ない
やさしさと健やかさに満ちた市民のまちをめざして	1. すべての人が生活しやすいバリアフリー化の推進	1	2	3	4	5
	2. 安心して受けられる医療サービスや救急医療体制の整備	1	2	3	4	5
	3. 健康づくりに取り組みやすい環境の整備	1	2	3	4	5
	4. 各年代に応じた食育の推進や食習慣の改善	1	2	3	4	5
	5. 高齢者のための福祉サービスの充実	1	2	3	4	5
	6. 障害者のための福祉サービスの充実	1	2	3	4	5
	7. 子育て支援の充実	1	2	3	4	5
	8. 男女共同参画社会の推進	1	2	3	4	5
	9. ボランティアやNPO活動など市民活動への支援	1	2	3	4	5
	10. 町内会など地域活動への支援	1	2	3	4	5
	11. 市民センターなど地域で活動するために必要な施設の整備	1	2	3	4	5
	12. 自転車・歩道整備などの交通安全対策	1	2	3	4	5
	13. 地震・風水害などの災害対策	1	2	3	4	5
	14. 下水道などの整備・雨水排水対策	1	2	3	4	5
	15. 児童館整備など子供の健全な心と身体を育む環境づくり	1	2	3	4	5
	16. 消費生活の安全対策や食の安全確保	1	2	3	4	5
	17. 安心して生活できる防犯体制の整備	1	2	3	4	5

		非常に 評価 する	どちら かとい えば 評価 する	どちら かとい えば 評価 しない	全く 評価 しない	わから ない
地球環境時代を先導する 悠久の杜の都をめざして	18. 自然環境の保全	1	2	3	4	5
	19. 街の中の緑の保全・創出	1	2	3	4	5
	20. 地域の個性を活かした景観づくり	1	2	3	4	5
	21. ごみ減量・リサイクルの推進	1	2	3	4	5
	22. 河川の水質保全と水辺環境の整備	1	2	3	4	5
	23. 騒音・大気汚染などの公害防止対策	1	2	3	4	5
	24. 地球環境保全のための啓発・環境学習の推進	1	2	3	4	5
地球 新しい交流の 中核都市を めざして	25. 国際交流・国際協力や留学生の支援	1	2	3	4	5
	26. 観光客の誘致やイベント開催による人々の交流促進	1	2	3	4	5
	27. 研究機関や企業などの誘致による地域経済の活性化	1	2	3	4	5
	28. 商店街の活性化や地域産業の振興	1	2	3	4	5
	29. 独創的な技術を活かした産業化、起業化推進	1	2	3	4	5
	30. 地産地消の推進など農業の振興	1	2	3	4	5
	31. 区画整理や再開発などによる中心市街地の整備	1	2	3	4	5
	32. 良好な住環境の整備	1	2	3	4	5
	33. バス・地下鉄などの公共交通網の整備	1	2	3	4	5
	34. 基幹となる道路網の整備	1	2	3	4	5
	35. 渋滞緩和の対策	1	2	3	4	5
未来を創造する 世界の学都を めざして	36. 学力と人間性を育む学校教育の充実	1	2	3	4	5
	37. 保護者や地域に開かれた学校づくり	1	2	3	4	5
	38. 生涯学習のための機会・場所の提供	1	2	3	4	5
	39. 芸術や文化の振興	1	2	3	4	5
	40. 文化財などの歴史的資源の保全・活用	1	2	3	4	5
	41. イベント開催などによるスポーツの振興	1	2	3	4	5
	42. 身近にスポーツを実践できる環境の整備	1	2	3	4	5
	43. 大学などの人材や知的資源の有効活用	1	2	3	4	5
総括 [1]	上記1～43の施策のうち、これまでの仙台市の取り組みとして 評価できると思う施策 について、 3つまで 選んでその番号(1～43)を右欄に記入してください。					
総括 [2]	上記1～43の施策のうち、これまでの仙台市の取り組みとして 不十分だと思う施策 について、 3つまで 選んでその番号(1～43)を右欄に記入してください。					
総括 [3]	上記1～43の施策のうち、仙台市の取り組みとして 今後特に力を入れていけばいいと思う施策 について、 3つまで 選んでその番号(1～43)を右欄に記入してください。 ※総括[1]及び[2]で選んだ番号を、重複して選んでも構いません。					

最後に、あなたご自身やご家族のことについておたずねします。

F1 あなたの性別をお答えください。あてはまる番号に○をつけてください。

1 男	2 女
-----	-----

F2 あなたの年齢をお答えください。あてはまる番号に○をつけてください。

1 18～19 歳	2 20～29 歳	3 30～39 歳	4 40～49 歳
5 50～59 歳	6 60～69 歳	7 70～79 歳	8 80 歳以上

F3 あなたの現在のお住まいは、次のどれですか。

あてはまるものを 1 つ選んで、番号に○をつけてください。

1 持ち家（一戸建て）	2 持ち家（集合住宅）	3 賃貸住宅（一戸建て）
4 賃貸住宅（集合住宅）	5 社宅・官舎・寮	6 その他（ ）

F4 あなたご自身のお仕事は大きく分けて、次のどれにあたりますか。

あてはまるものを 1 つ選んで、番号に○をつけてください。

1 経営者、役員	2 会社員、公務員など常勤の一般職員
3 臨時雇用、パート、アルバイト、内職	4 自営業者またはその家族従業者
5 専業主婦	6 学生
7 無職	8 その他（ ）

F5 現在同居されている世帯の構成はどのようになっていますか。

あてはまるものを 1 つ選んで、番号に○をつけてください。

1 一人暮らし	2 夫婦のみ
3 二世帯世帯（あなたの世代と親）	4 二世帯世帯（あなたの世代と子ども）
5 三世帯世帯（あなたを含めて三世帯）	6 その他（ ）

F6 あなたのお住まいの住所(区)をお答えください。

あてはまる番号に○をつけてください。

1 青葉区	2 宮城野区	3 若林区	4 太白区	5 泉区
-------	--------	-------	-------	------

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

なお、市政全般に関してのご意見などがございましたら、下欄にご記入ください（紙幅が不足する場合、お手持ちの用紙などにご記入願います。）。

〔ご意見など〕

こちらのアンケートにも是非ご協力ください。

仙台のまちづくりに関するアンケート

仙台市は、本年、市政施行 120 周年、政令指定都市移行 20 周年を迎えました。

現在、本市ではまちづくりの基本的な方針(総合計画)の策定を進めておりますが、それに向けて参考とさせていただきたいと思いますので、以下のご質問にお答えくださいますようお願いいたします。

1. 仙台の街の「良いところ」「将来に引き継いでいきたいところ」は何ですか？

2. 仙台の街の「より良くなってほしいところ」「足りないと思うところ」は何ですか？

ご協力ありがとうございました。

平成 21 年度
仙 台 市 施 策 目 標 調 査
(市民アンケート)
報 告 書

平成 21 年 10 月発行

仙台市 企画市民局 総合政策部 総合計画課
〒980-8671 仙台市青葉区国分町 3 丁目 7 番 1 号
TEL 022-214-8031・8034

※再生紙を使用しています。

